Rick Rackに
教わる

はじめての ソーイング NoTE

vol.5

ショルダーバッグとペンケース

あたたかな素材が恋しくなる寒い季節は、
ふんわりニット地で、バッグを作ってみませんか？
基本のショルダーバッグの作り方を覚えたら、
サイズやあしらいを変えたアレンジも、簡単に。
柄違いの生地で仕立てたペンケースで、
苦手なファスナーつけも克服しましょう。

19page.com

上海打折网
www.shanghaidz.com
打折特卖、试用赠品，时尚杂志免费下载
凌晨三点半，这里还在努力更新

19page.com

そろえておきたい道具

布のずれを防ぐ まち針

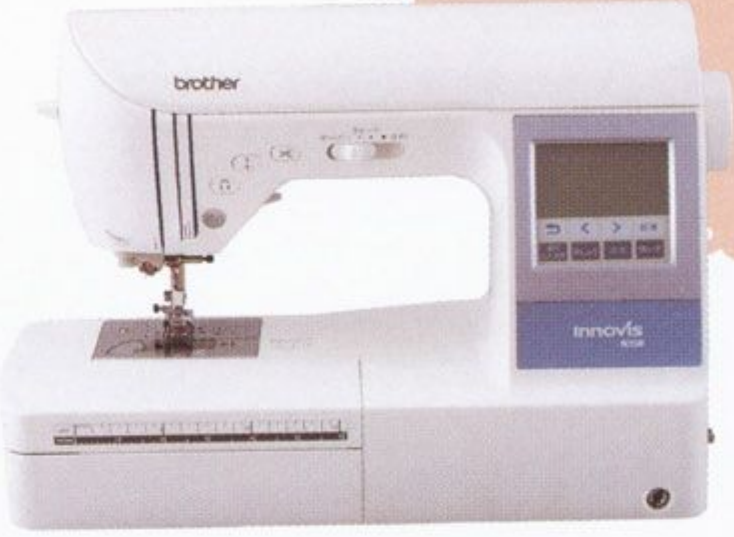
縫う前には必ず、「まち針」を打つ。特に、カーブでは細かく。曲がっている針は、生地を傷める原因になるので使わない。

生地に合わせて ミシン糸とミシン針

針と糸は、生地の厚さに合ったものを使って。ミシン針は、針先が曲がってしまうときれいに縫えないので、こまめなチェックを。

	厚地	普通〜中厚地	薄地
糸	30番	60番	90番
針	14号	11号	9号

レベルに合わせて選んで ミシン

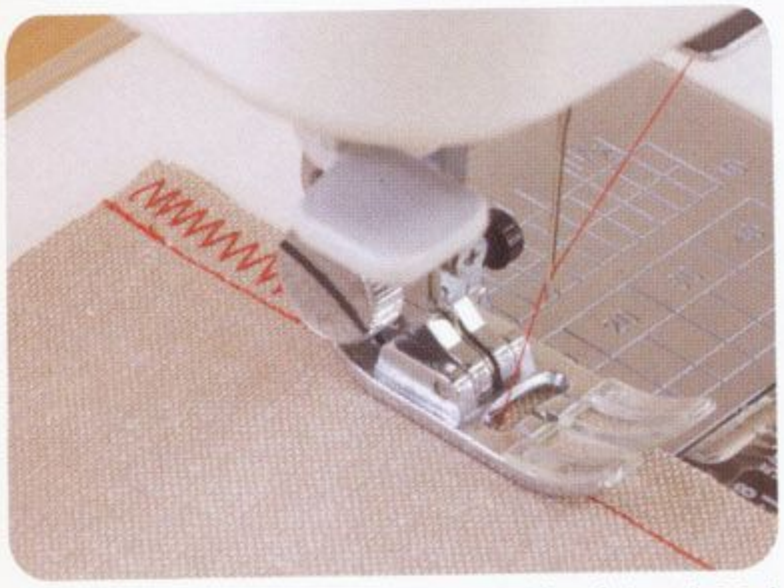


作品づくりにはミシンを使用。バッグや小物を縫う場合は、直線縫いとジグザグ縫いができる家庭用ミシンなら、どんな機種でも大丈夫。

ソーイングの基本

ジグザグ縫い

布端の始末などに使用します。生地の厚みや種類によってミシン目（縫い目）の大きさやジグザグの振り幅を調整しましょう。

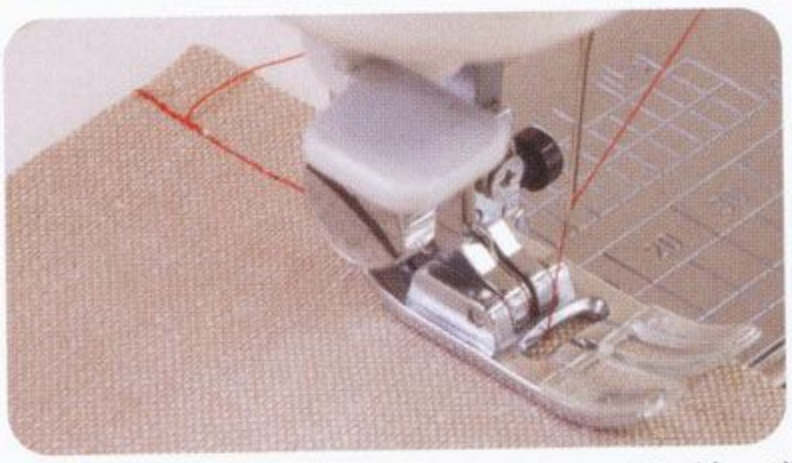


1 ジグザグ縫いは、直線縫いで縫い合わせたラインの外側にかける。

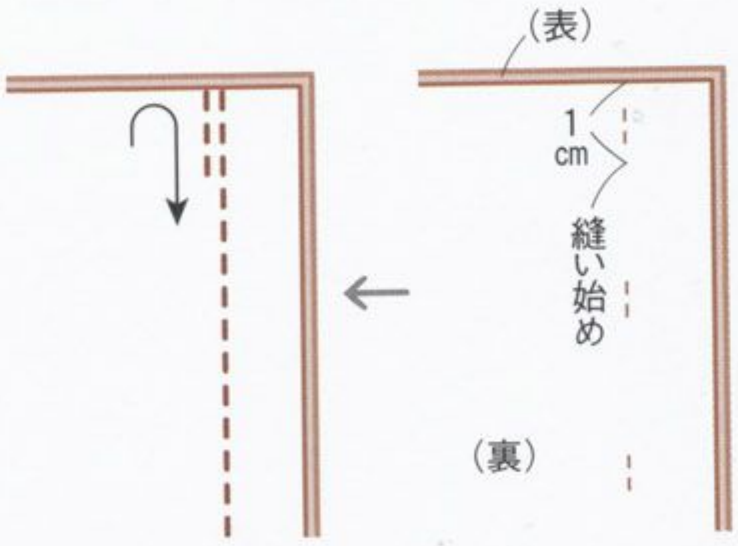
2 布端ぎりぎりにかけると生地を巻き込んでしまう。そこで、布端より0.1〜0.2cm内側にかけるときれいに仕上がる。

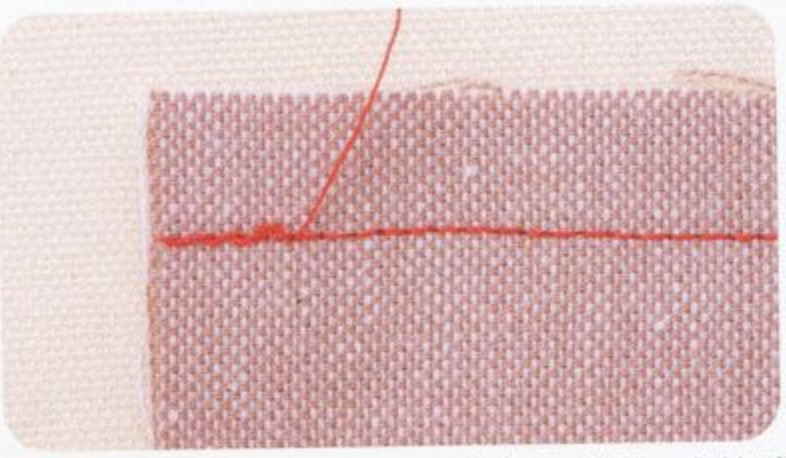
返し縫い

縫い始めと縫い終わりは、3針程度返し縫いをします。こうしておけば、簡単にほどけることはありません。



1 布端より約1cm内側へ針を下ろし、返し縫いボタン（レバー）を押して布端まで3針程度返し縫いをしてから縫い進む。縫い終わりも3針程度返し縫いをする。





2 縫い始めと縫い終わりの上糸と下糸は、布端ぎりぎりの所で切る。縫ったミシン目と重なるように返し縫いをすると、見た目にきれい。

直線縫い

長い距離を縫う場合は、途中で手を止めずに一気に縫うときれいに仕上がります。

1 生地をセットし、右手でプーリー（はずみ車）を手前に回しながら縫い始めの位置に針を下ろす。

2 押さえ金を下ろしてゆっくりとミシンをスタートさせる。

3 両手で生地の上下を少し引っぱりながら縫い始める。

19page.com

仕上げや直しに
リッパー

間違った縫い目をほどくときや、ボタンホールをあけるときに使用。先端がとがっているので、使用後はカバーをつけて。

目打ち

作品の角をきれいに出すときに使用。簡単な印つけの道具としても便利。リッパー同様、先端がとがっているので取り扱いには注意を。

印つけに
チャコペン&チャコペンシル

印つけに使う。ペンタイプ(上)と鉛筆タイプ(下)。ペンタイプは時間がたつと線が自然に消える。水でも消せる。

定規

布目を正すときや、縫い代のついていない型紙に縫い代をつけるときに使用。15cmと50cmくらいのもの、2つがあると便利。

作品の仕上がりが変わる!
アイロン

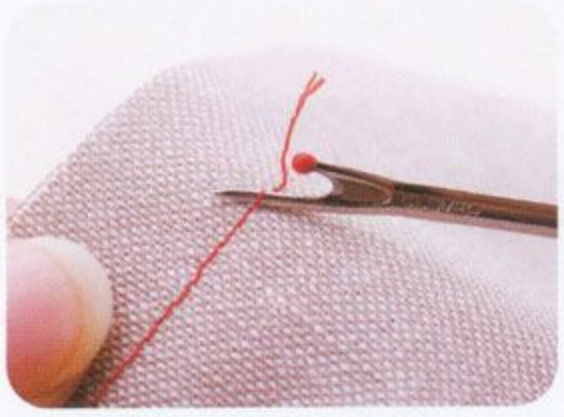
縫い代を倒す、割る、三つ折りにするときに欠かせない必需品。スチーム機能がついたものが便利。ない場合は、霧ふきと併用して。

裁断・糸の始末に
ハサミ

布を裁つときは専用の裁ちバサミ(大)を使う。糸の始末には糸切りバサミ(小)を用意して。刃が傷むので裁ちバサミで布以外のものは切らないように。

仕上げのコツ

縫い間違えた所をほどいたり、作品を表に返したりするときなどは、リッパーや目打ちなどの専用の道具を使うと、生地を傷めず、仕上がりもきれいになります。



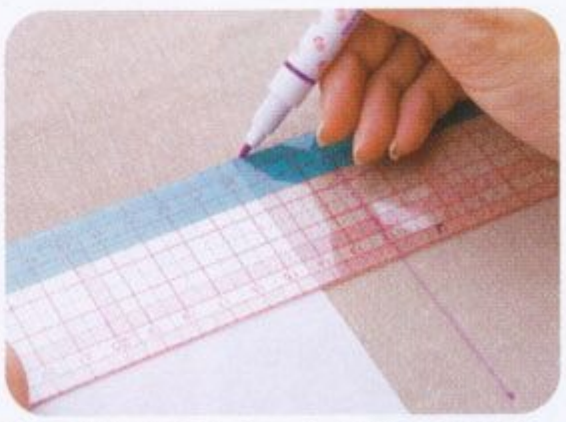
リッパーの先で縫い目の上糸をすくい、刃の部分で糸を切る。所々上糸をはずせば、下糸は簡単にはずれていく。

角は目打ちで整える。作品を表に返して、角がへこんでいるときは、目打ちなど先のとがったもので表に出す。

印つけの方法

印つけとは、でき上がり線や合い印などを布に写す作業です。正確な印つけは、きれいな仕上がりにつながります。

型紙の合い印に目打ちなどで小さな穴をあけ、そこにチャコペンで生地に印をつける。ボールペンやえんぴつは消えなくなるので、使用しない。



縫い代を広くしたいときは定規を使って。平行・垂直のラインが入った方眼定規は正確に線が引ける。

アイロンのかけ方

こまめにアイロンをかけると、作品の仕上がりがぐーんとよくなります。作業に合わせて、アイロンの先を使ったり、全体を使ったり、上手に使い分けましょう。

縫い代を割るなどの作業のときは、アイロンの先だけを使って縫い目をなぞるように割っていく。少しだけ斜めに立てて使うのがコツ。

テカリが気になる素材や接着芯を使用するときは、当て布をしてからアイロンをかける。当て布はこまめに洗濯をして清潔に。

重さのあるアイロンを引きずると、生地が引きつれてしまうので、必ず1回ずつ持ち上げて移動させること。

ハサミの使い方

ハサミは作業台に沿って動かすのが基本。直線部分は刃を大きく開いて使いますが、カーブなどは刃の先を使うと上手に切れます。

下側の刃を作業台につけ、台の上を滑らせるように動かして生地を切る。

ハサミを持ち上げて裁断すると上下に動き不安定に。きれいに裁断できない。

カーブ部分を裁つときは、ハサミを作業台につけたまま、刃をカーブに沿わせて、刃の先を使って切っていく。

マフラー¥5145、カーディガン¥9345／ティン パン アレイ
ノート¥1470／カントリースパイス

バッグ基礎編

とっておきのトナカイ柄はふたに 本体前面には、あえて無地を選び 主役の生地を引き立てましょう

ショルダーバッグ

肩からかけられるよう、ひもを長く仕立てれば、
活動的にすごしたい日にぴったりなバッグに。
ふたに使った柔らかなニット地は
縫う前に端を始末するだけで、
初心者にも、ぐ～んと扱いやすくなります。
あたたかさを感じる、やさしい手触りを味わって。

型紙は18・19ページ

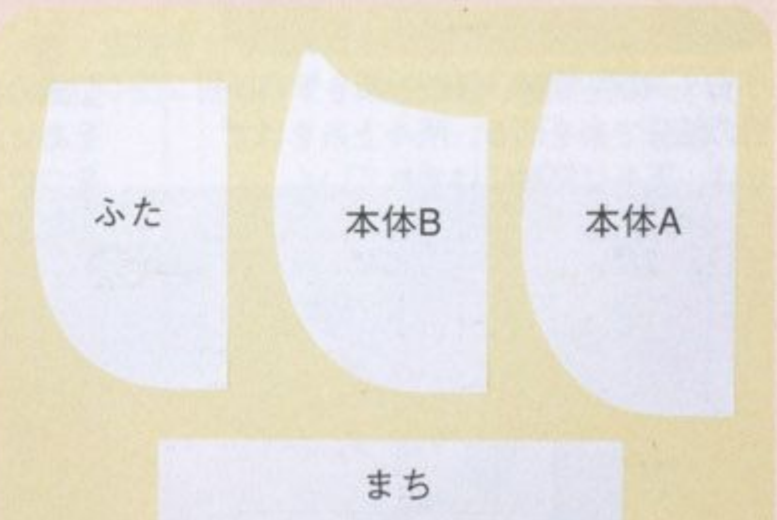
でき上がりサイズ
約縦24×横30cm、まち幅約5cm（持ち手含まず）

材料
本体A表布・ふた表布：70×30cm
本体A裏布・本体B・ふた裏布・まち・ひも：110cm幅×1m
接着キルト芯：90cm幅×75cm
接着芯：20cm×1m
0.9cm幅接着テープ：2m
内径2cm幅Dカン：2個
1.5cm径マグネットホック：1組

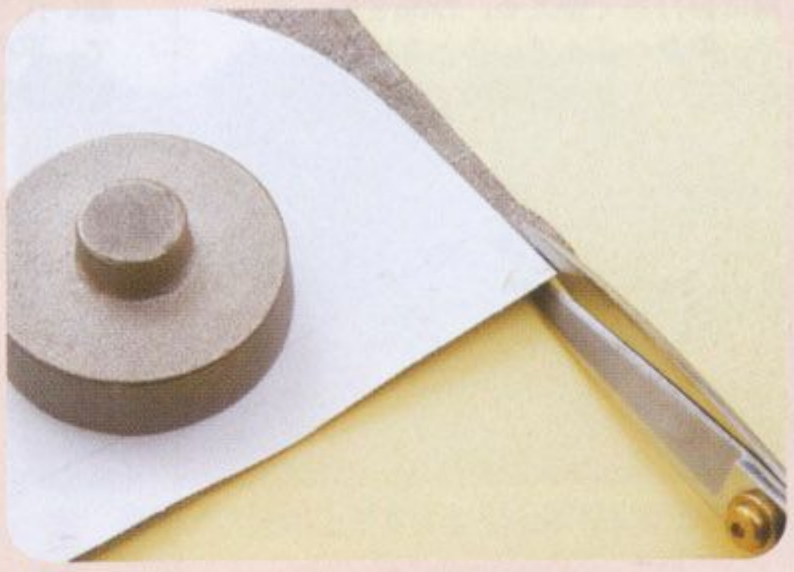
布を裁ちます 1

＊写真、イラスト中の数字の単位はcm。
＊わかりやすく説明するため、部分的に糸の色を変えています。
実際に作るときは、布の色に合わせて糸をお選びください。

パーツを用意
本体A（表布、裏布、接着キルト芯）、本体B（表布、裏布、接着キルト芯）、ふた（表布、裏布、接着キルト芯）、まち（表布、裏布、接着キルト芯）、ひもA（縦96×横7cm）、ひもB（縦45×横7cm）、ひも（A・B）用接着芯を各1枚裁った状態。



1 18・19ページの型紙を200％拡大し、紙専用バサミで切り取る。



2 布の上に型紙と文鎮を置き、各パーツをそれぞれ裁断する。

Continued on the following page.
19page.com

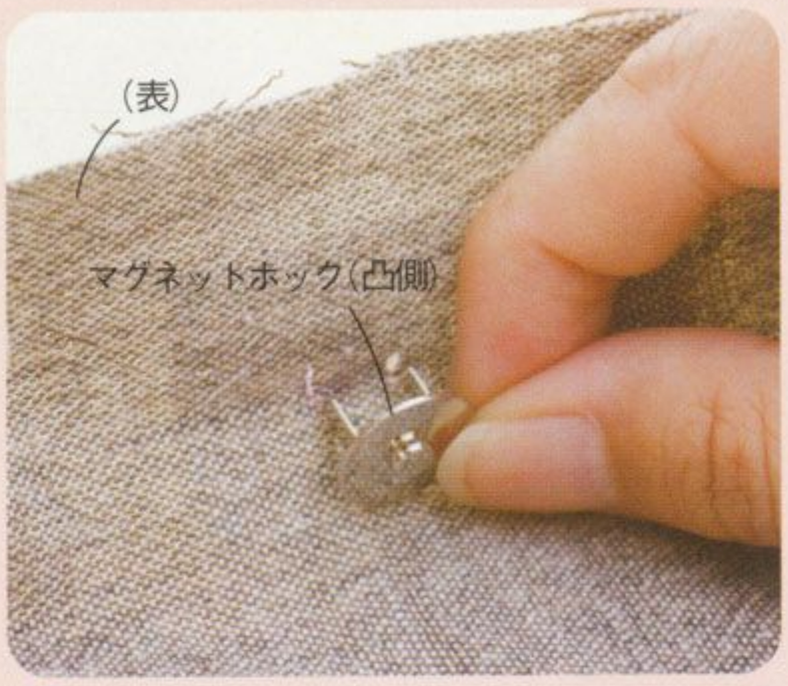
マグネットホックをつけます 2

1 ふた裏布を中表に「わ」で折り、マグネットホックつけ位置にチャコペンで印をつける。

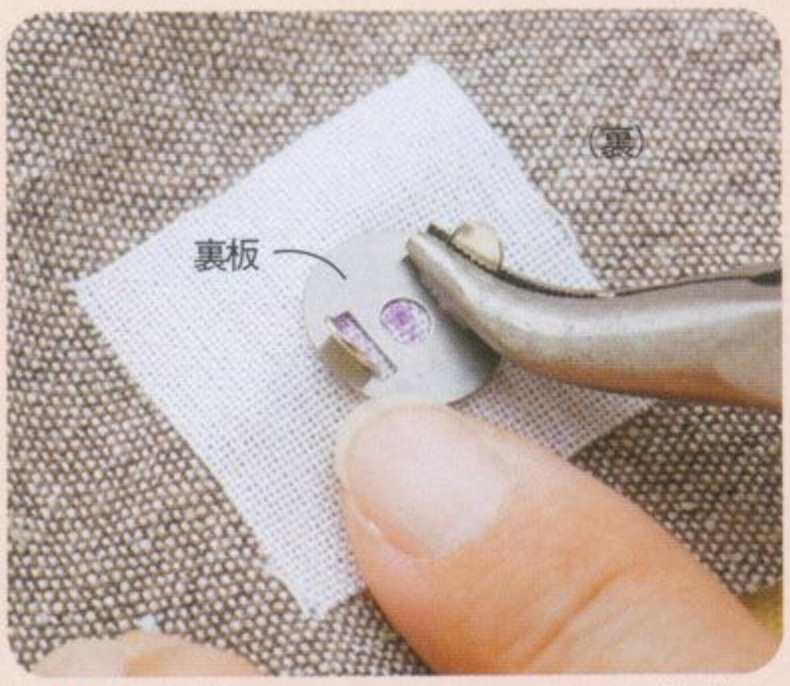
2 ふた裏布裏側のホックつけ位置に3cm四方に切った接着芯を貼り、その上から再度印をつける。本体B表布の裏側にも同様につける。

3 **2**のホックつけ位置にマグネットホックの裏板の中心を合わせ、裏板の左右の穴の位置にチャコペンで印をつける。

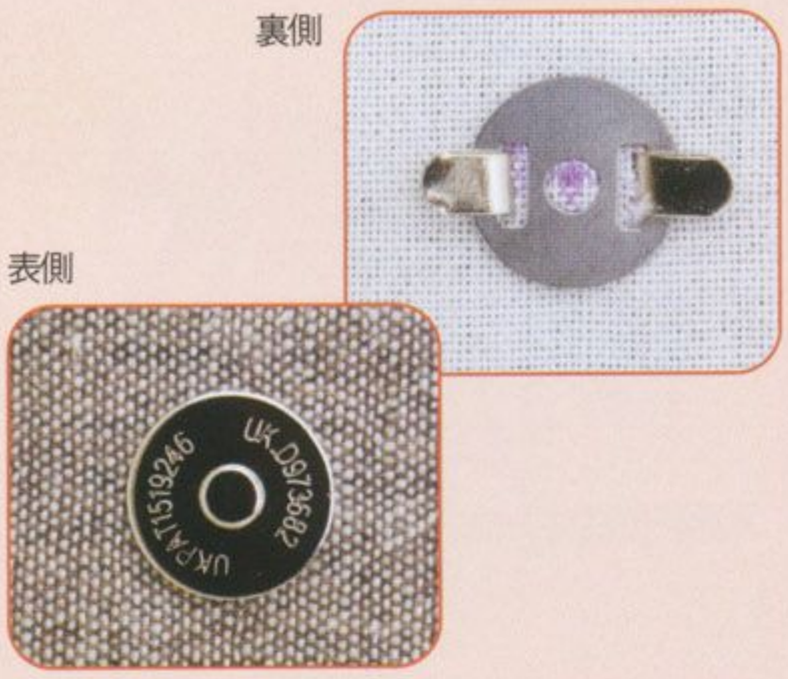
4 印をつけた所を、リッパーで0.3～0.5cm程度生地をすくうように引っぱり、穴をあける。



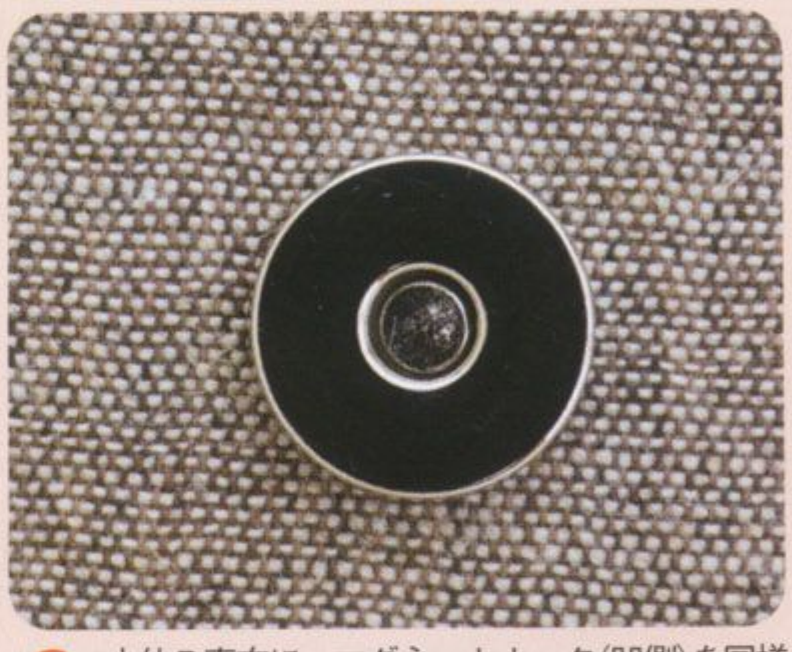
5 ふた裏布の表側からマグネットホック（凸側）の脚をはめる。



6 **5**の脚に裏板をかぶせる。ペンチなどを使い、脚を外側に折る。

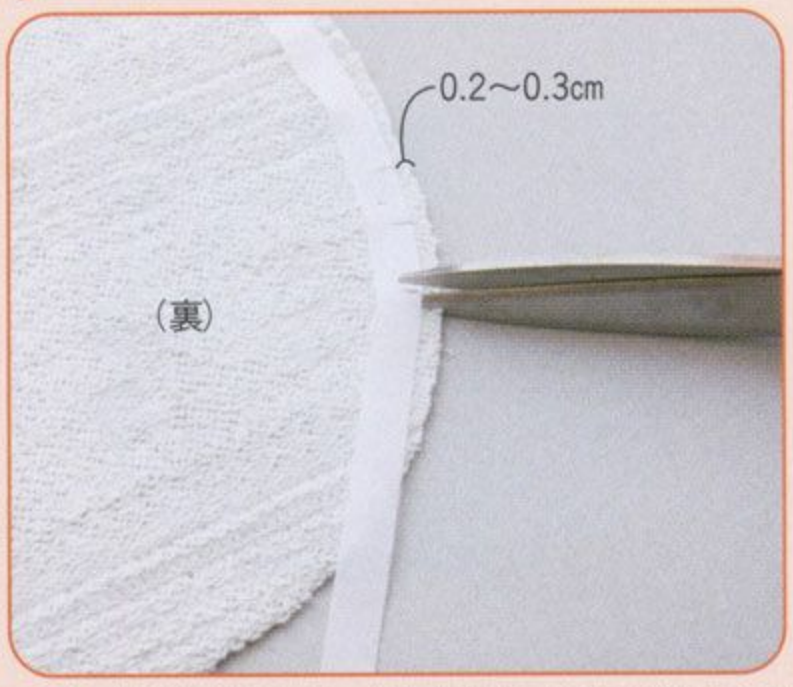


7 ふた裏布に、マグネットホック（凸側）をつけ終わったところ。



8 本体B表布に、マグネットホック（凹側）を同様につける。

POINT



3 伸び止めのため、ふた表布のすべての辺の布端から0.2～0.3cm内側に、接着テープを貼る。カーブ部分は、テープにハサミで切り込みを入れる。

接着テープの代わりに、接着芯を細長く切って使ってもＯＫ！

生地が伸びやすいニット地は、接着テープを貼るとぐ～んと縫いやすくなるの

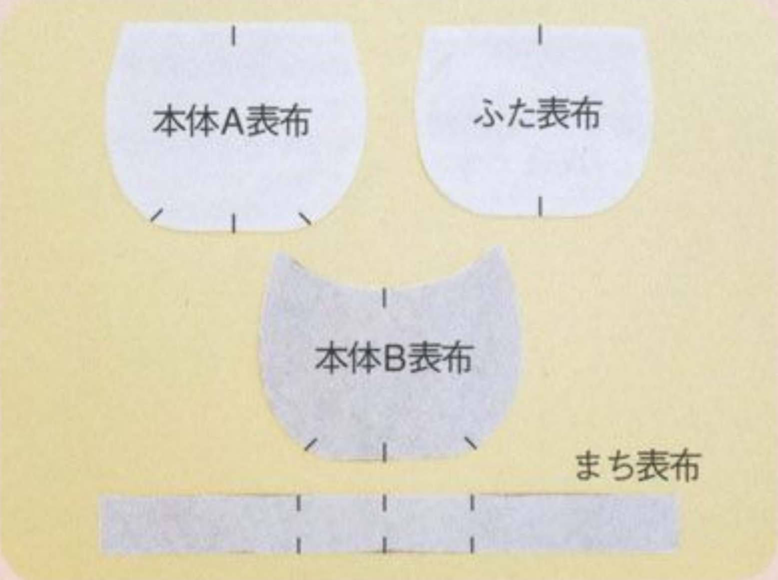
4 接着テープを上から、アイロンで押さえます。

5 接着テープを貼り終えたところ。本体A表布も同様に貼る。

3 表布を縫い合わせます

1 本体A表布の裏側に接着キルト芯をアイロンで貼る。

アイロンをかけるときは、布の表側からアイロンを浮かせてかけるのがコツ。アイロンを押しつけてしまうと、キルト芯がつぶれるので気をつけて

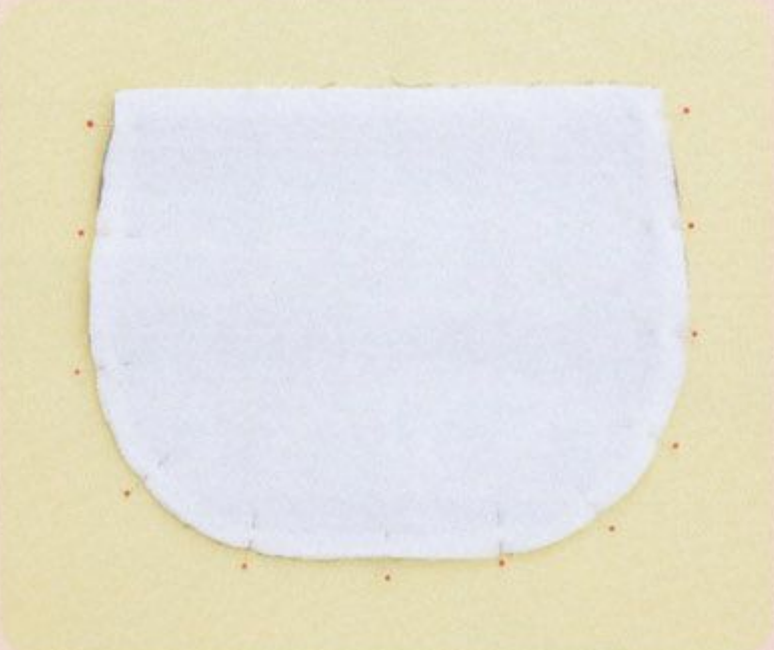


2 ふた表布、本体B表布、まち表布にも同様にキルト芯を貼り、キルト芯の上から合い印をつけておく。

3 本体A表布とまち表布を中表に合わせ、まず合い印を合わせてまち針で固定し、間を埋めるようにさらにまち針で固定する。

4 布端から1㎝内側を縫い合わせる。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする。縫うときは、まちを上にして縫うときれいに縫える。

4 ふたを作り本体に仮どめします

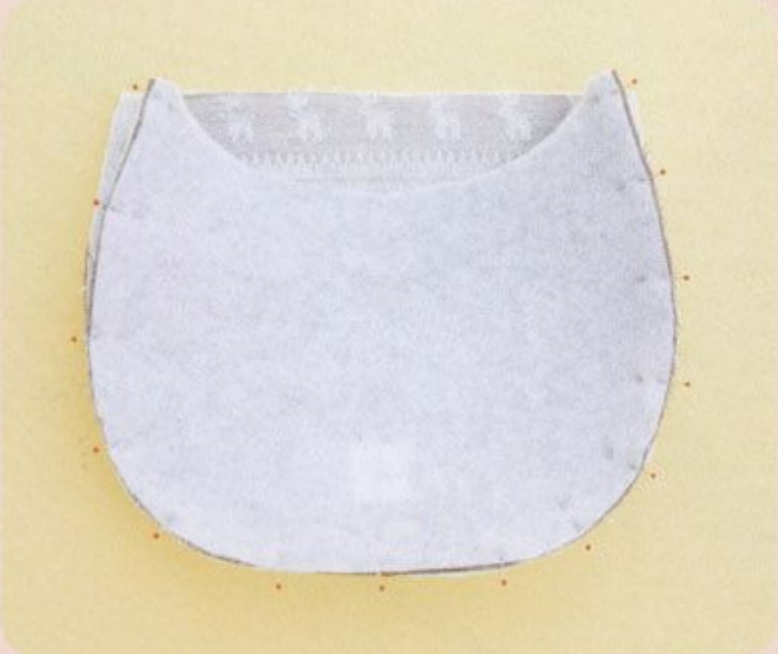


1 ふた表布とふた裏布を中表に合わせ、合い印を合わせてまち針を打つ。

2 布端から1㎝内側を縫い合わせる。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする。

3 表に返して形を整える。

4 ふた表布とふた裏布がずれないように、上部にまち針を打つ。



5 本体B表布を、**4**のまち表布と中表に合わせ、同様にまち針で固定する。

6 布端から1㎝内側を縫い合わせる。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする。表に返す。

ここまでの確認

前

後ろ

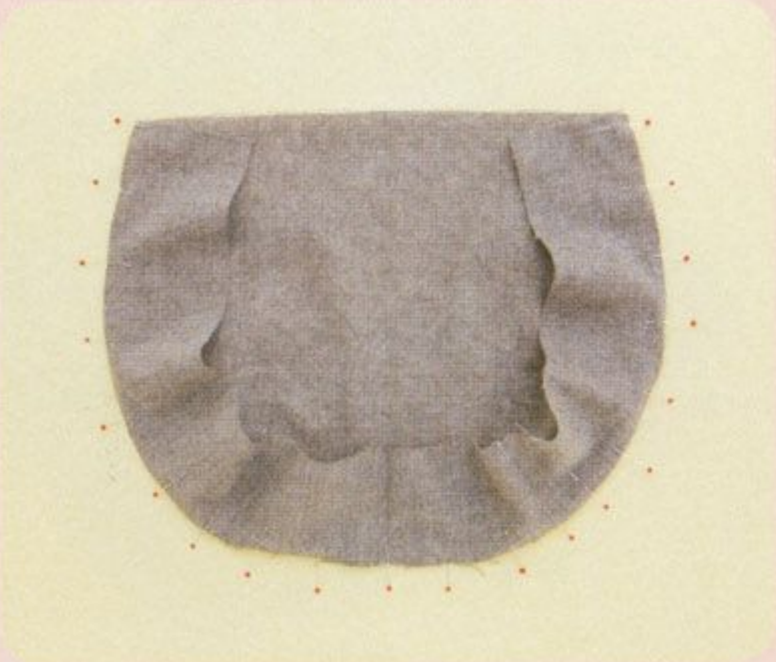
キルト芯を貼った表布は、きれいに縫えたかしら。なんだか、かわいいバッグになりそう！

19page.com

Continued on the following page.

19page.com

裏布を縫い合わせます 5



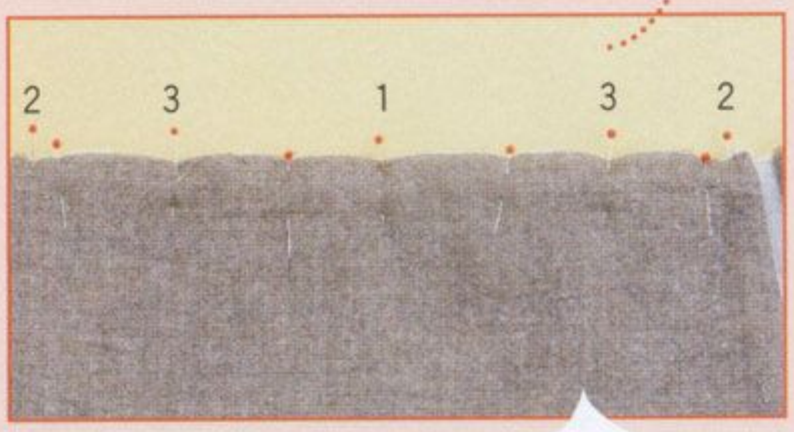
1 本体A裏布とまち裏布を中表に合わせ、合い印を合わせてまち針で固定する。

2 布端から1cm内側を縫い合わせる。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする。

3 本体B裏布を、**2**のまち裏布と中表に合わせ、同様にまち針で固定する。

4 布端から1cm内側を縫い合わせる。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする。

5 本体A表布とふたの表布側を中表に合わせ、まち針でとめる。

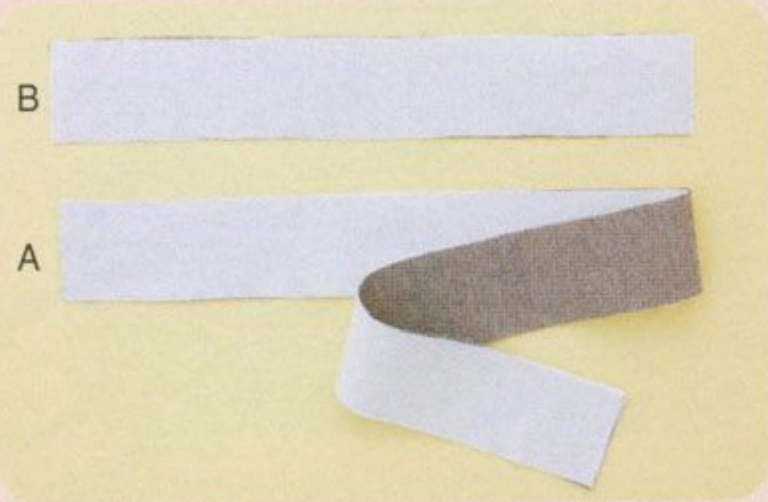


まち針は、まず中心の合い印を合わせ、左右均等になるようにふたの両端をとめ、さらに間をとめていくのよ

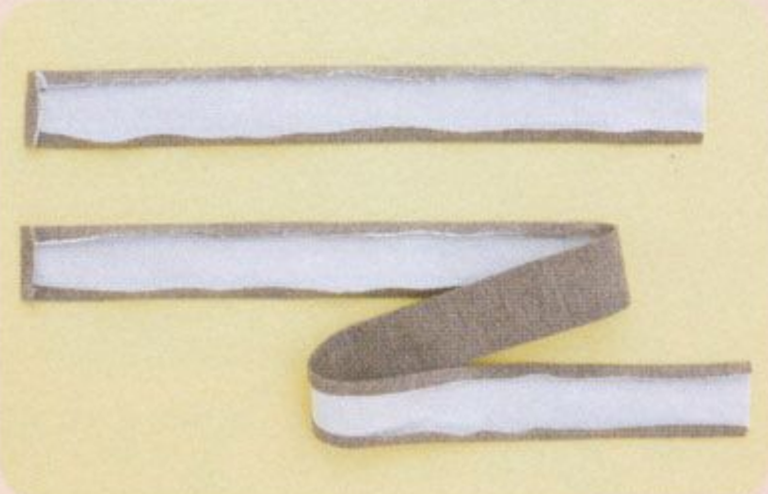
6 布端から0.7cm内側を縫って、仮どめする。

この部分はキルト芯が重なり布が厚くなるので、縫いづらいときは、厚地用の針(14号)に替えて縫いましょう

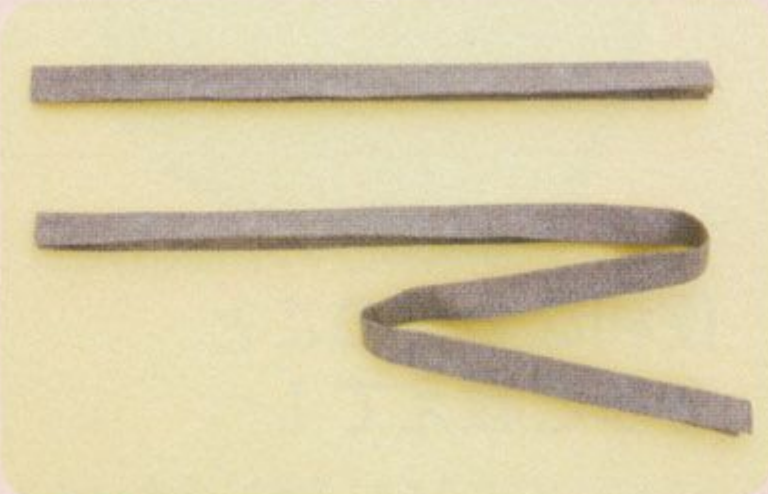
ひもを作ります 6



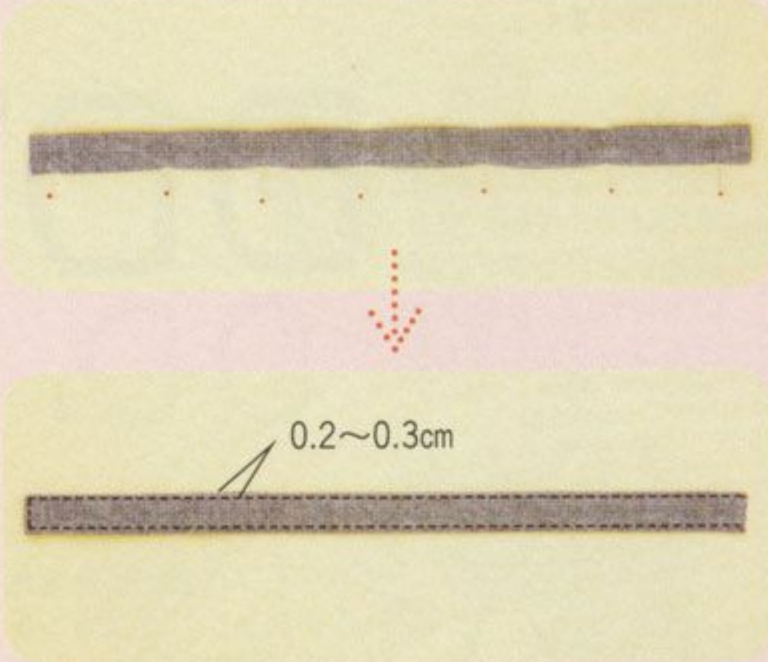
1 ひもA・Bの裏側に接着芯を貼る。



2 それぞれ、上下の端(長辺)と、短辺の片側をアイロンで1cm折る。



3 **2**の状態から、外表に二つ折りにする。

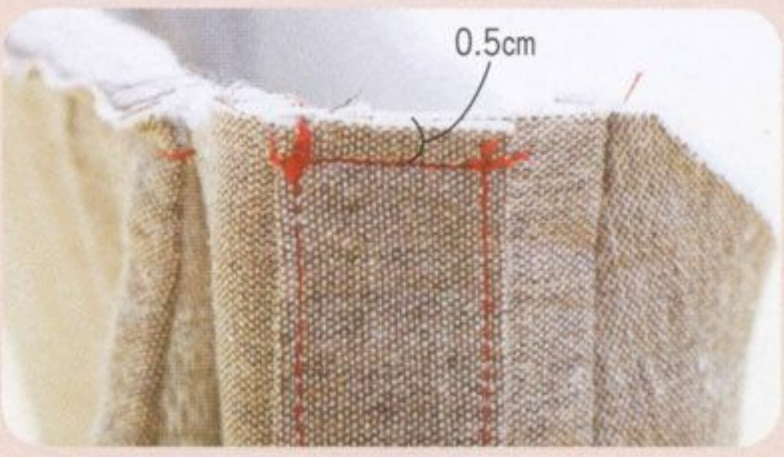


4 アイロンをかけて、まち針を打ち、折った辺の布端から0.2～0.3cmの所にコの字にステッチをかける。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする。

19page.com

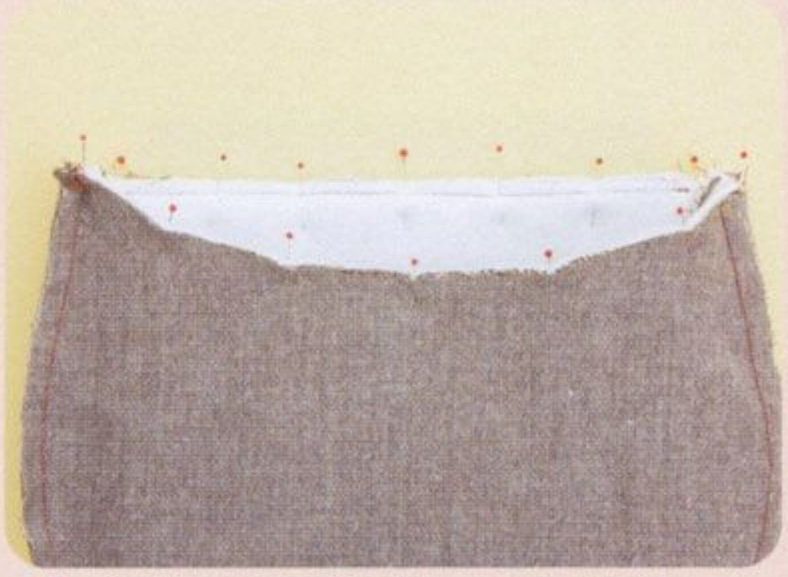
表布と裏布をまとめます 7

1 まち表布(左側)の中心とひもBの中心を合わせ、布端をそろえてまち針でとめる。

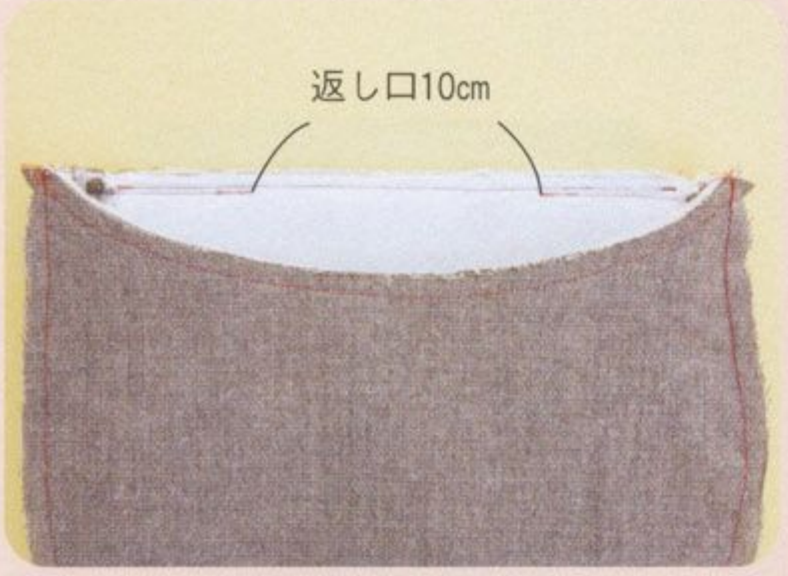


2 布端から0.5cmの所を縫う。右側のまちにも、ひもBを同様に仮どめする。

3 表布を裏布の中に入れ込む。このとき、本体に仮どめしたひもとふたも一緒に中に入れる。



4 表布と裏布の口側を合わせ、まち針を打つ。



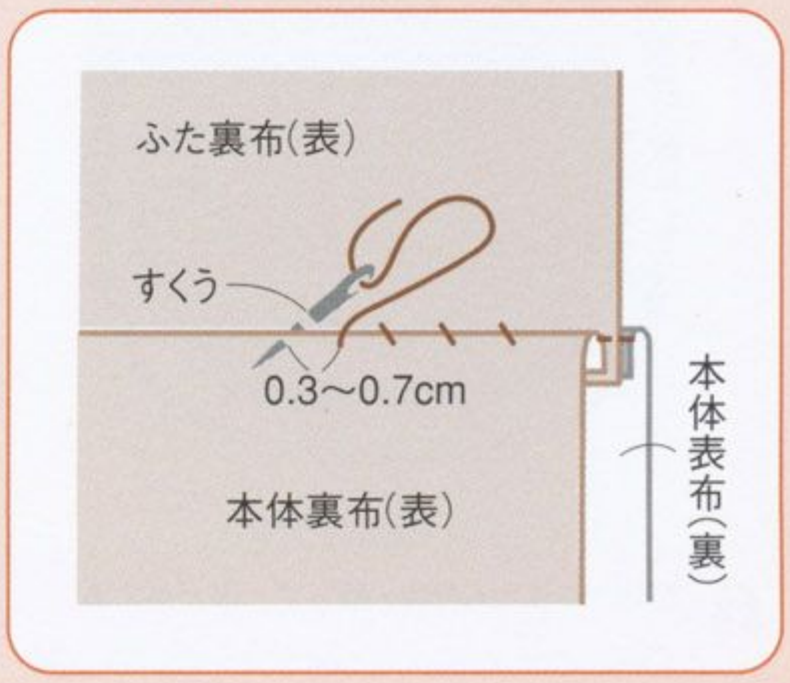
5 本体A側に返し口10cmを残して、布端から1cmの所をぐるりと縫う。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする。

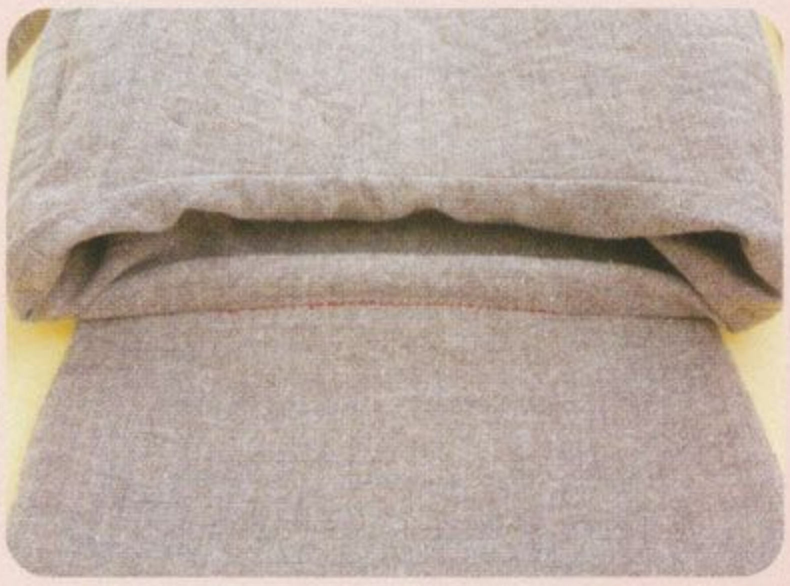
6 返し口から表布を引っぱり出し、表に返す。

7 返し口にまち針を打つ。

8 返し口を手でまつり縫いする。こうすると、あとで端ミシンがかけやすくなる。

まつり縫い





9 返し口を縫い終わった状態。

Bag Column

持ち手やひもの調節に便利なカンのこともっと教えて！

ふだんバッグを作るとき、金属カンを使ったことはありますか？　持ち手につければ長さの調節ができるなど、機能的なバッグに金属カンは欠かせません。「D」形のDカン、ドロップ形のナスカン…と、その形も用途もさまざま。使いみちに応じて選びましょう。

Dカン

持ち手に2つ並べて通すだけで、手軽に長さ調節が。バッグの内側につければ、小物をかけるフックとしても。

ナスカン

ストラップなどによく使われるナスカン。ナスカンを持ち手の端に、Dカンを本体につければ簡単に取り外しができる。

移動カン

リュックサックなど、しっかりとひもの長さを調節したいときに、便利な移動カン。ひもをくぐらせるように通して縫いつける。

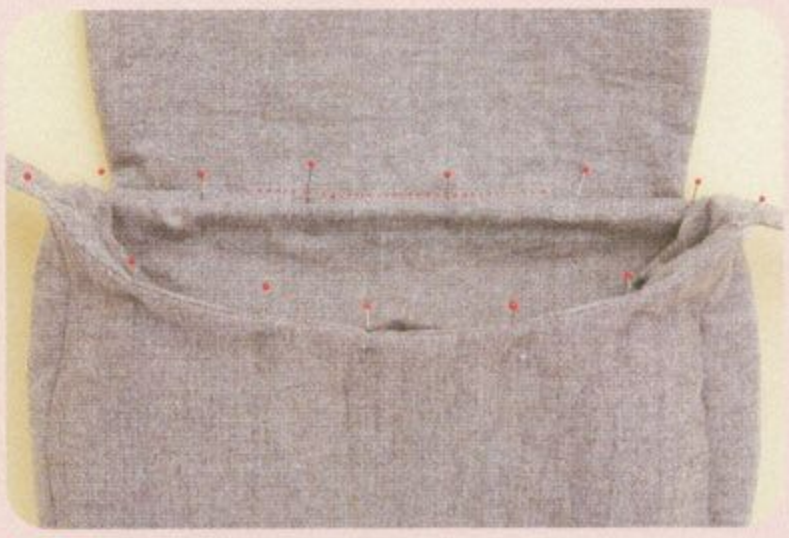
1カラーDカン　25mm　2ニッケルのDカン　15mm　3ナスカン　15mm　4ミニナスカン　Dカン付き　9mm　5移動カン　15mm／すべて清原

Continued on the following page.

でき上がり！

前

後ろ



10 接着キルト芯を貼った表布と裏布がずれないように、口側にまち針を打つ。

11 口端から0.2〜0.3cmの所にぐるりと端ミシンをかける。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする。

12 ひもAの先にDカンを2つ通し、先端を4cm内側に折って、まち針でとめる。

13 ひもの布端は縫い代が厚く縫いづらいため、端から1.2cmの所を縫う。

いろんな道具があるのね〜

バスケット(参考商品)／ドゥ・セー自由が丘

バッグ作り Q & A

どんな疑問も残さず解決！

Q. バッグを作るとき どんな押さえ金が必要ですか？

A. 押さえ金は、作品の縫いやすさを左右するもの。生地や縫い目の種類によって使い分ける必要があります。バッグ作りでは、直線縫いやジグザグ縫いをする際に使う標準の押さえ金のほか、ファスナーをつけるとき、押さえにムシがあたらない形になっている片押さえ金、またラミネート生地用のフッ素樹脂加工の押さえ金などを用意しておきましょう。押さえ金を替えるときは必ず一度、ミシンの電源を切ってからに。そして、正しく装着できたのを確認してから、縫い始めて。

Q. 接着芯とキルト芯 どうやって使い分けるの？

A. バッグ作りにおいて接着芯は欠かせないもの。接着芯を貼ることで、布に張りが出て仕上がりのシルエットが美しくなります。また、布に強度も出るため、そのあとの型崩れを防ぐ働きも。さらに、ニットや薄手の布に貼れば、生地が縫いやすくなります。いっぽうキルト芯は、布に厚みを出したいとき、保温性を持たせたいときに。バッグやポーチの生地に貼ると、全体がふんわりと仕上がり、また、クッション性があるため、中に入れるものを衝撃から守ってくれます。

バッグ応用編1

サイズを小さく

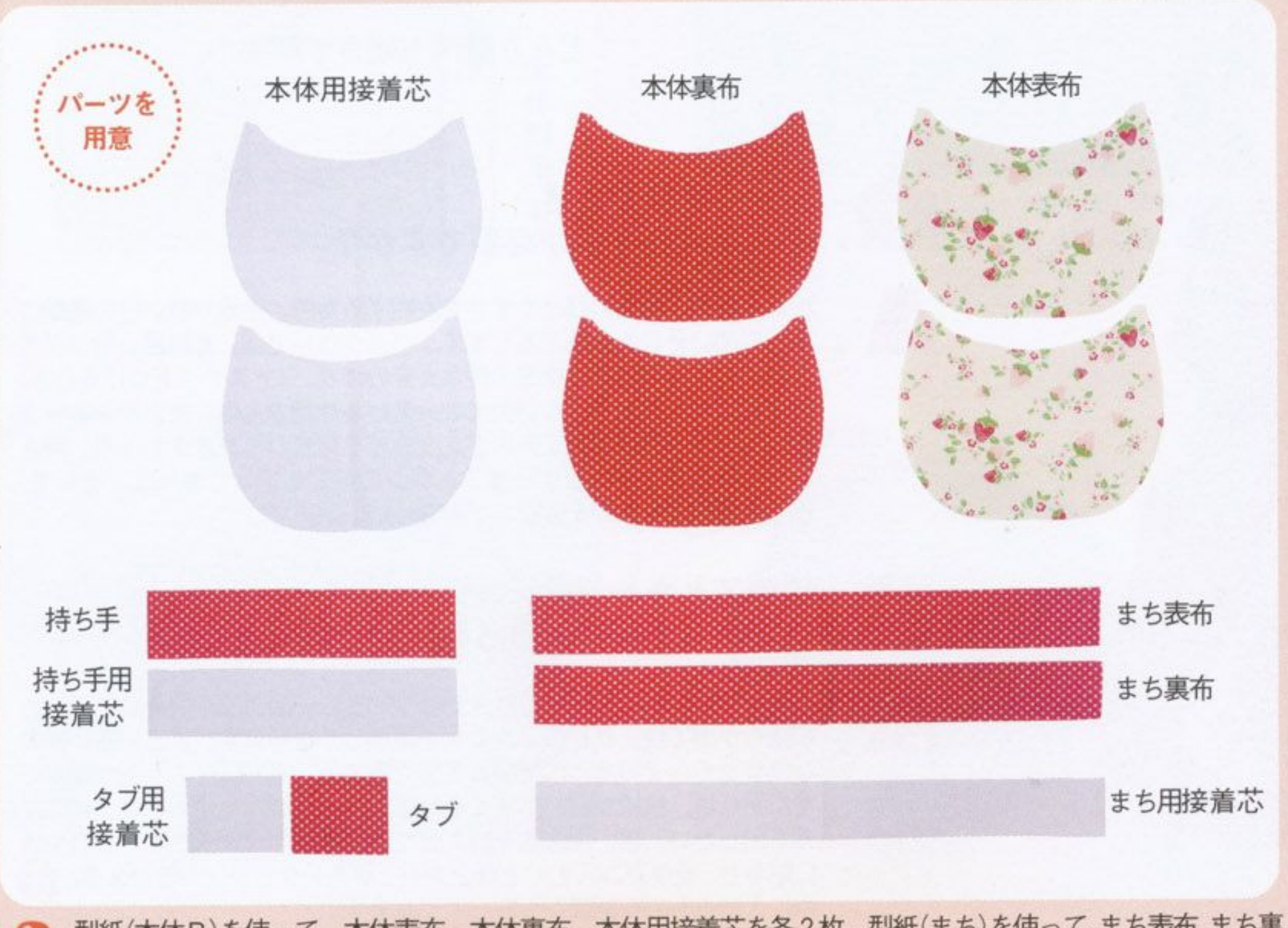
基礎編バッグの型紙を縮小して
お出かけ用のミニバッグに。
サイズがコンパクトになったぶん、
持ち手もあえて、短くしました。
イチゴと赤い水玉の組み合わせで、
気持ちもパッと華やぎます。

型紙は19ページ

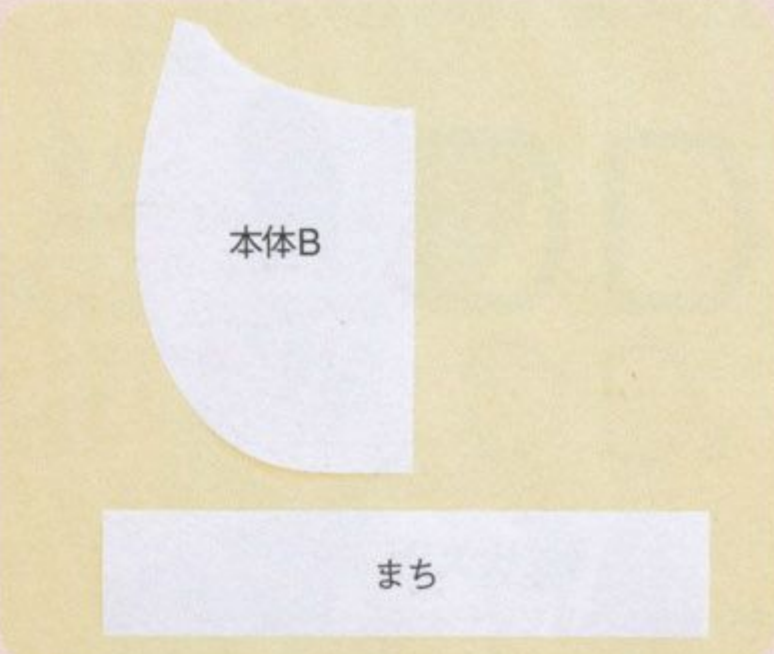
でき上がりサイズ
約縦20×横25cm、まち幅約4cm(持ち手含まず)

材料
本体表布：60×25cm
本体裏布・まち・持ち手・タブ：110cm幅×60cm
接着芯：90cm幅×60cm
1.5cm径マグネットホック：1組

1 本体用の型紙を作り布を裁ちます



2 型紙(本体B)を使って、本体表布、本体裏布、本体用接着芯を各2枚、型紙(まち)を使って、まち表布、まち裏布、まち用接着芯を各1枚裁つ。そのほか、持ち手と持ち手用接着芯(各縦32×横7cm)、タブとタブ用接着芯(各縦10×横8cm)も裁つ。本体表布、まち表布、持ち手、タブの裏側に接着芯を貼り、合い印をつけておく。

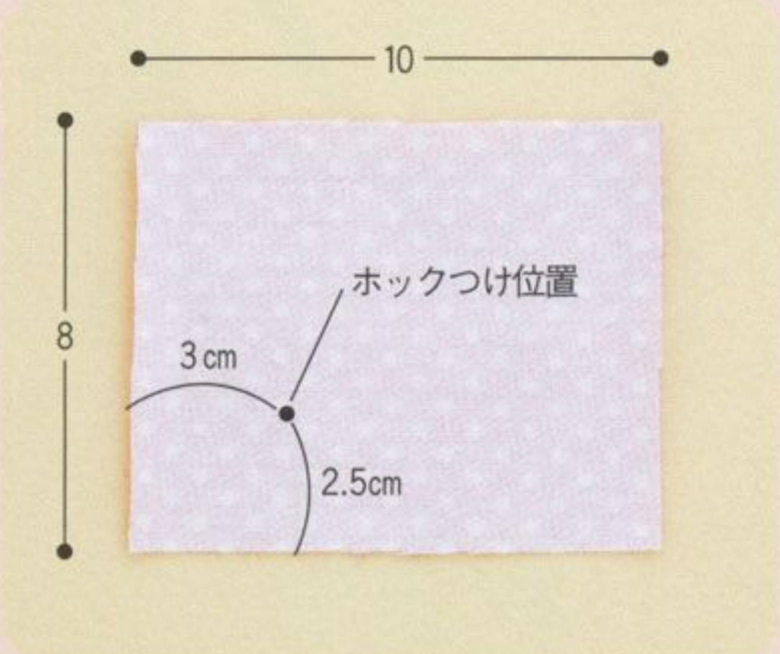


1 19ページの本体B、まちの型紙を160%拡大し、紙専用バサミで切り取る。

19page.com

Continued on the following page.

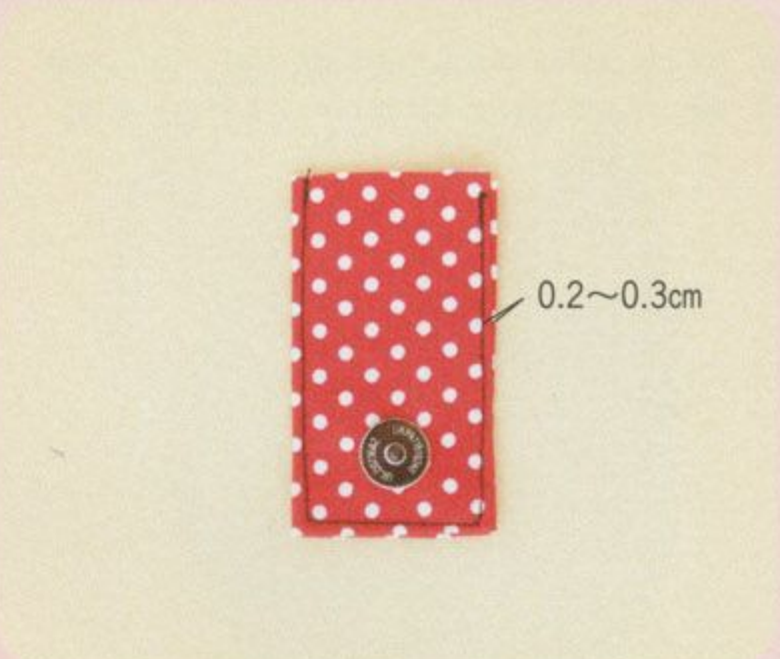
2 タブを作ります



1 写真を参照し、タブのホックつけ位置に印をつける。

2 5ページの基礎編「**2**マグネットホックをつけます」を参考に、マグネットホック(凸側)をタブにつける。

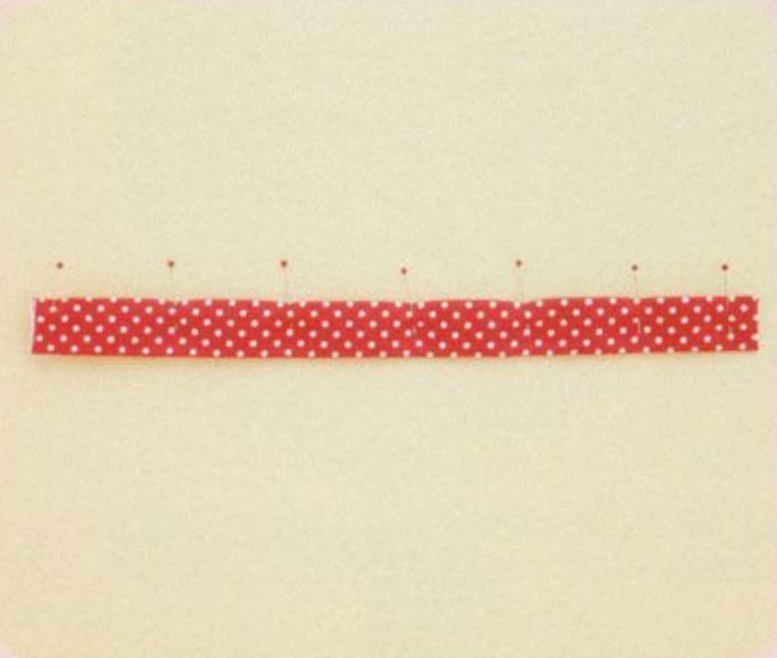
3 3辺をアイロンで1cm折る。



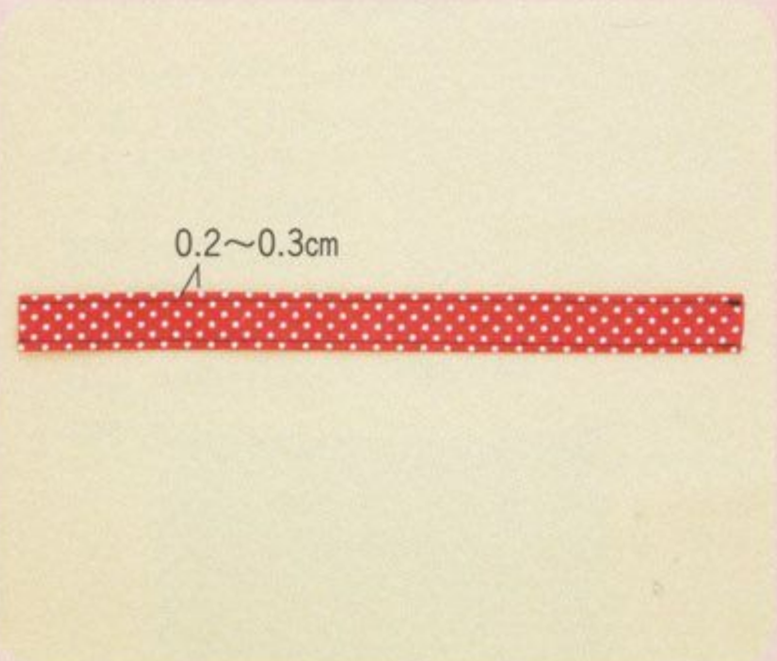
4 左右の端を合わせて二つ折りにし、布端から0.2〜0.3cmの所をコの字に縫う。

3 持ち手を作ります

1 上下の端をアイロンで1cm折る。



2 上下の端を折ったまま、外表に二つ折りにし、まち針を打つ。



3 上下の布端から0.2〜0.3cmの所を縫う。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする。

4 本体とまちを合わせ仕上げます

1 本体表布(前面)の口端中心から2.5cm下の所にマグネットホック(凹側)をつける。さらに、本体表布とまち表布を縫い合わせる。

2 裏布とまち裏布を縫い合わせる。

3 本体表布(後ろ面)にタブを、まち表布に持ち手を仮どめする。このあとは、基礎編バッグと同様に表布と裏布をまとめ、仕上げる。

仮どめの方法はこちら！

タブは表布(後ろ面)の口側の中心とタブの中心をそろえて、持ち手はまちの口側の中心と持ち手の中心をそろえて、まち針で固定します。そして、布端から0.5cmの所を縫うだけ

バッグ応用編 2

端をバイアスでくるんで

間にキルト芯を挟んだキルティング地は
ふんわりあたたかく、寒い季節にうれしい素材。
本体は、シンプルに無地を使い、
縁どりのパイピングをアクセントにしました。
バイアステープは、自分で作ってもいいし、
種類豊富な市販品を活用しても。

← 型紙は18・19ページ

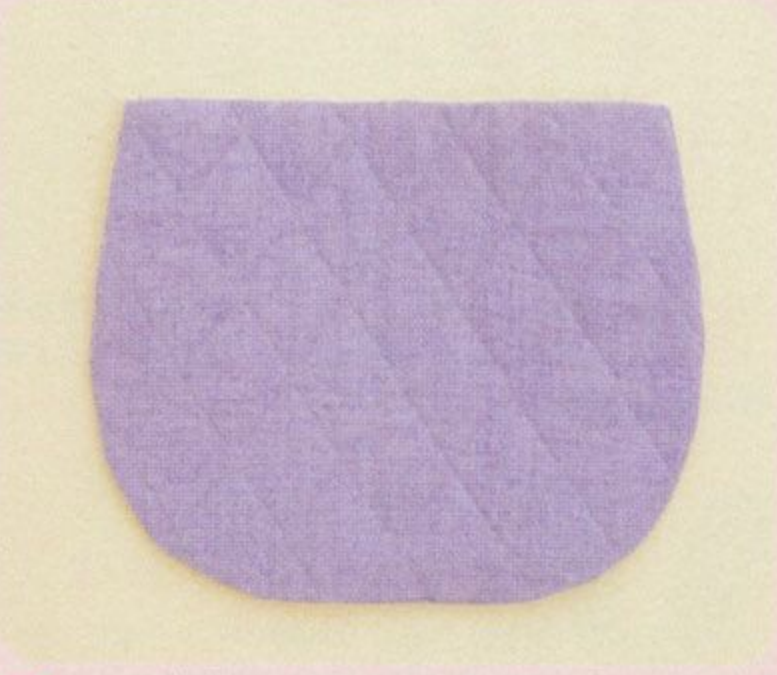
できあがりサイズ
約縦24×横30cm、まち幅約5cm(持ち手含まず)

材料
表布・持ち手：キルティング地105cm幅×75cm
裏布：110cm幅×75cm
接着芯：10cm四方
バイアステープ(両折りタイプ)：2cm幅×2.2m
1.5cm径マグネットホック：1組
フロッキープリント：1パターン(好みで)

ここは基礎編と同じ!

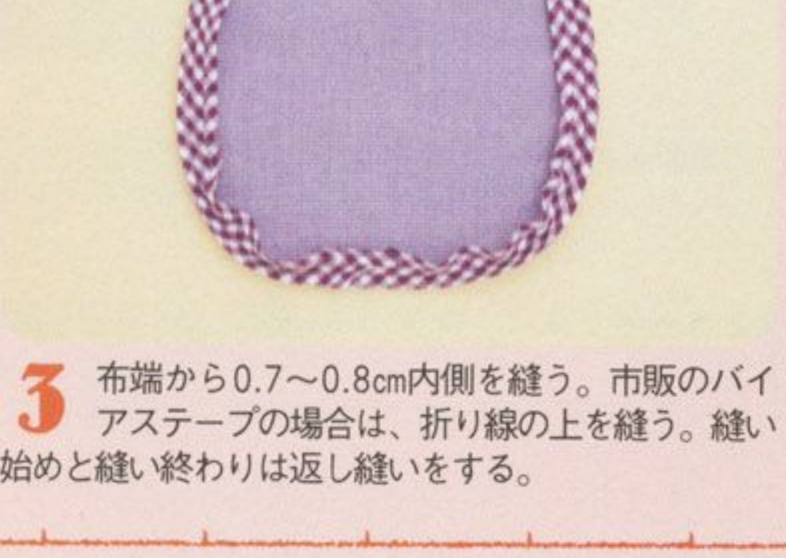
本体A(表布・裏布)、本体B(表布・裏布)、ふた(表布・裏布)、まち(表布・裏布)を裁断します。マグネットホックのつけ方は、5ページの「2 マグネットホックをつけます」と同様に。ふた、表布、持ち手の作り方は以下を参照してください。

ふたを作ります 1



1 ふた表布と、マグネットホックをつけたふた裏布を中表に合わせて縫い、表に返す。

2 折りたたんであるバイアステープの片側を開き、ふた裏布と中表に合わせてまち針でとめる。キルティング地の厚みがあるので、テープの端は、ふた裏布の布端より約0.1cm外側に出るようにする。



3 布端から0.7〜0.8cm内側を縫う。市販のバイアステープの場合は、折り線の上を縫う。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする。

4 バイアステープをふた表布側に返し、テープで縫い代をくるむように折り、まち針でとめる。

5 バイアステープのきわから0.2cm内側の所を縫う。

19page.com

◀◀ Continued on the following page.

表布を縫い合わせます 2

1 本体B表布の下端中央から9cm上の位置に、マグネットホック(凹側)をつける。

2 本体B表布とまちを外表に合わせ、布端から0.5cmの所を縫う。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする。本体A表布も同様に、まちと縫い合わせる。

3 折りたたんであるバイアステープの片側を開き、まち表布と中表に布端を合わせまち針で固定し、布端から0.7〜0.8cm内側の所を縫う。市販のバイアステープの場合は、折り線の上を縫う。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする。

4 バイアステープを本体側に返し、テープで縫い代をくるむように折り、まち針でとめる。

5 バイアステープのきわから0.2cm内側の所を縫う。同様に反対側にもテープを縫いつける。

6 基礎編と同様に、ふたを本体A表布に仮どめする。さらに、本体裏布を作り、表布と裏布をまとめる。

19page.com

フロッキープリントでふたにアクセント

フロッキープリントとは、ぷっくりとふくらんだ文字やイラストが、布に簡単に転写できる接着シール。無地のバッグに好みのイラストを写せば、世界にひとつの布小物に！

フロッキープリント／Rick Rack

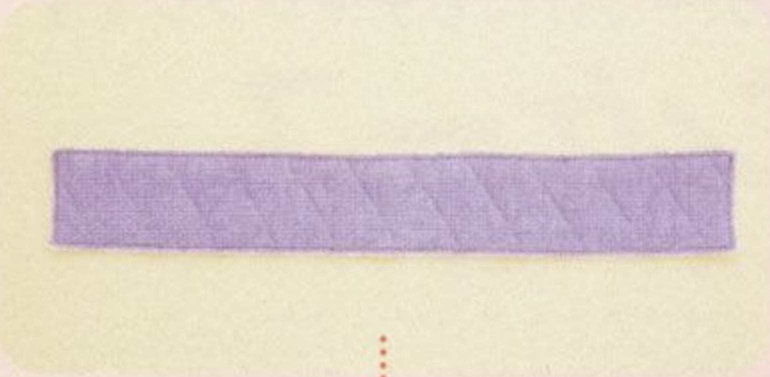
17ページでご紹介しているRick Rackの各店舗、HP上でフロッキープリント(全7色4種類)が購入可能です。

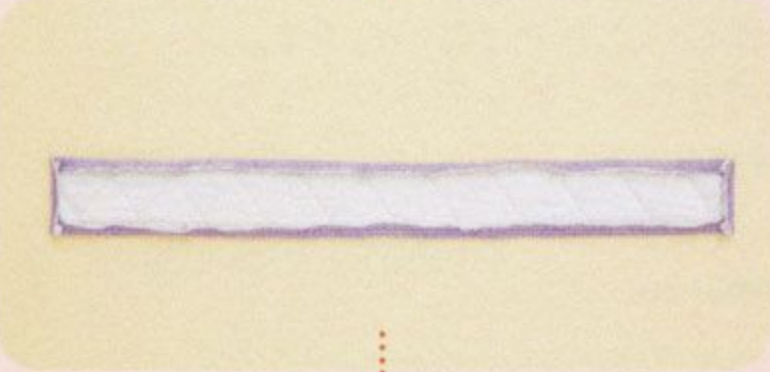
必要な図案をカットし、布の好みの位置に置きます。中〜高温（150〜160度）に設定したアイロンで、上からしっかり体重をかけて25秒間押さえると、簡単に転写が。生地によっては焦げつく恐れがあるので、当て布をしておくと安心です。

▼

シートが完全に冷めたら、ゆっくりていねいにはがしましょう。勢いよくはがすと図案も一緒にはがれてしまうことがあるので、慎重に作業して。

持ち手を作ります 3





1 持ち手(縦55×横8cm)を1枚裁つ。キルティング地の場合、端がほつれないように布端から0.5cmの所をあらかじめ縫っておく。さらに、四方をアイロンで1cm折り、そのまま外表に二つ折りし、布端から0.2〜0.3cmの所を口の字に縫う。

POINT

2 まちの口側の中心と持ち手の中心を合わせ、まちの口端から3.5cmの所に持ち手をまち針で固定し、口の字に縫いつける。縫い代が重なって分厚くなっている部分は、無理にミシンを進めず、プーリーを手でゆっくりと回しながら進めるといい。

3 まちに持ち手を縫いつけた状態。

19page.com

ダイアリー¥1575／MoMo natural 自由が丘店
タグ、封筒、鉛筆(すべて参考商品)／ドゥ・セー自由が丘

小物編

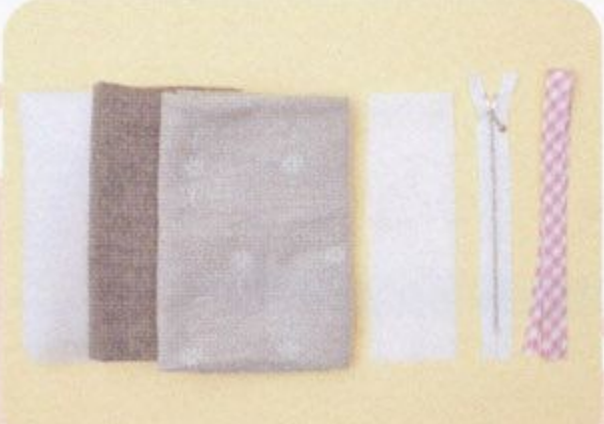
**おそろいで楽しめるよう
バッグと柄違いの布を使って
ファスナーつけにもチャレンジです**

ペンケース

初めてのファスナーつけは、
直線縫いだけでできるペンケースからスタート。
正しい順番でまち針を打つ。しつけをかける。
ちょっとしたコツさえ知っていれば、
決して、難しいことではないんです。
手持ちの端ぎれで、試してみましょう。

型紙は19ページ

- でき上がりサイズ
  約縦８×横21.5㎝

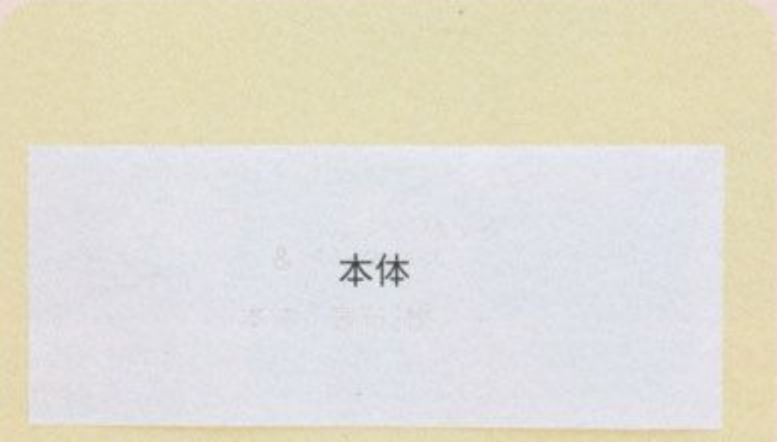


材料
表布：35×25㎝
裏布：35×25㎝
接着キルト芯：35×25㎝
バイアステープ(両折りタイプ)：２㎝幅×50㎝
0.9㎝幅接着テープ：1.4㎝
20㎝ファスナー：１本

布を裁ちます 1

パーツを用意

表布、裏布、接着キルト芯各２枚を裁った状態。



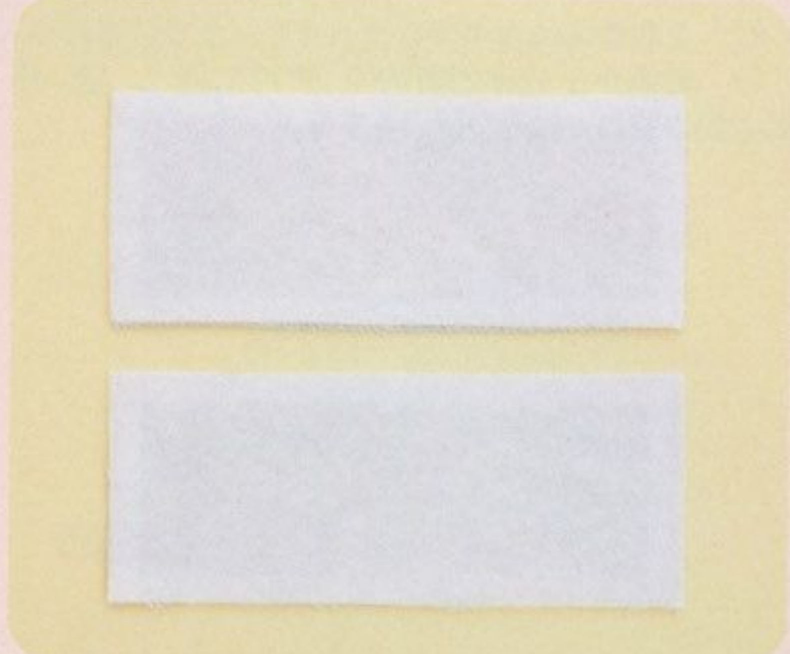
1 19ページの型紙を200％拡大し、紙専用バサミで切り取る。

2 布の上に型紙と文鎮を置き、各パーツをそれぞれ裁断する。

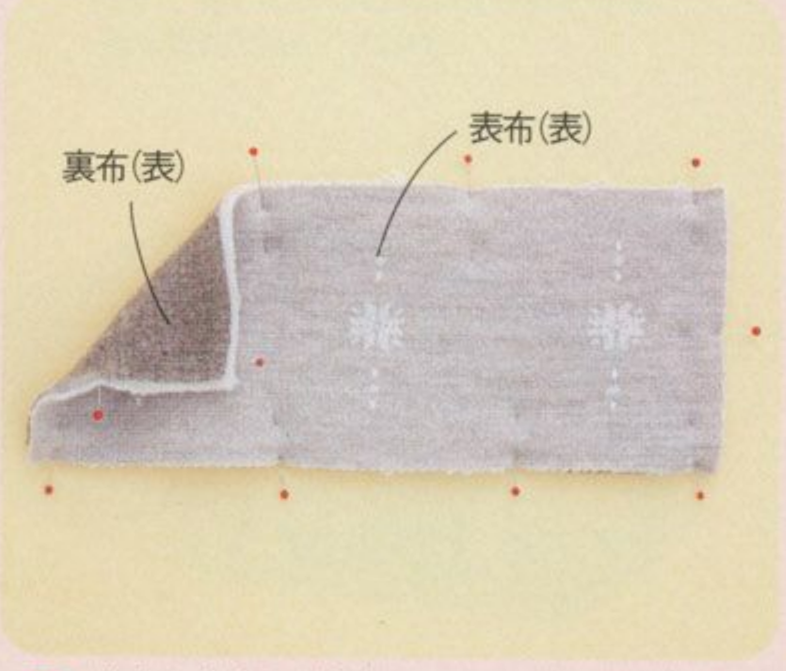
Continued on the following page.

2 本体を作ります

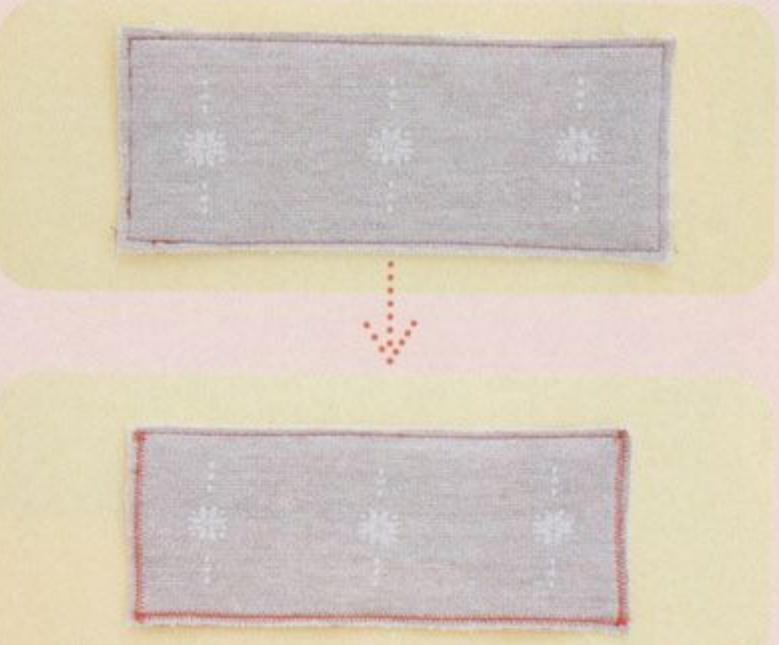
1 伸び止めのため、表布裏側の布端から0.2〜0.3cm内側の所に接着テープを貼る。



2 1の上に接着キルト芯を貼る。

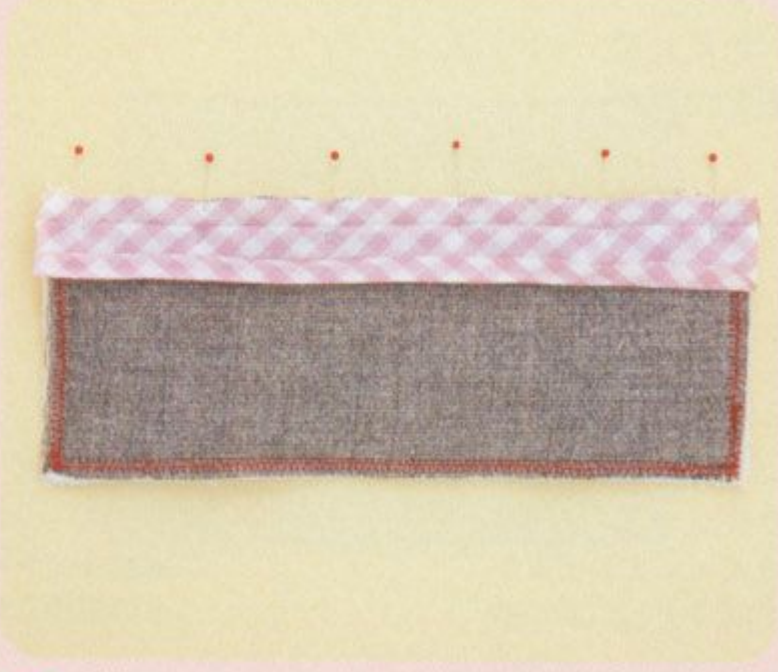


3 表布と裏布を外表に合わせ、まち針を打つ。



4 布端から0.5cmの所をぐるりと1周縫い、表布と裏布を仮どめする。その縫い目の上を、上辺を除いてコの字形にジグザグミシンをかけて布端を始末する。もう1つも同様に作る。

3 口側にバイアステープをつけます



1 折りたたんであるバイアステープの片側を開き、裏布とテープを中表に合わせ、口側の端にそろえてまち針でとめる。

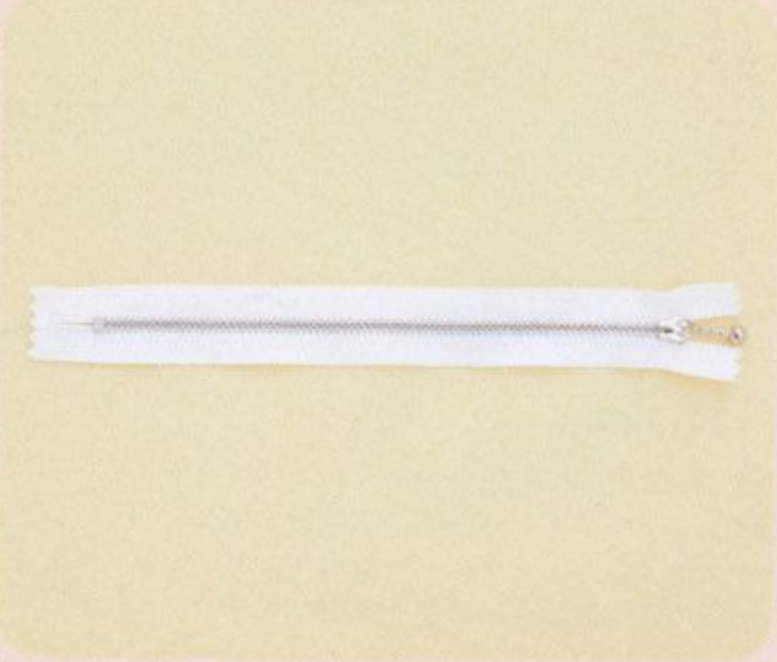
19page.com

2 バイアステープの折り線の上を縫う。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする。

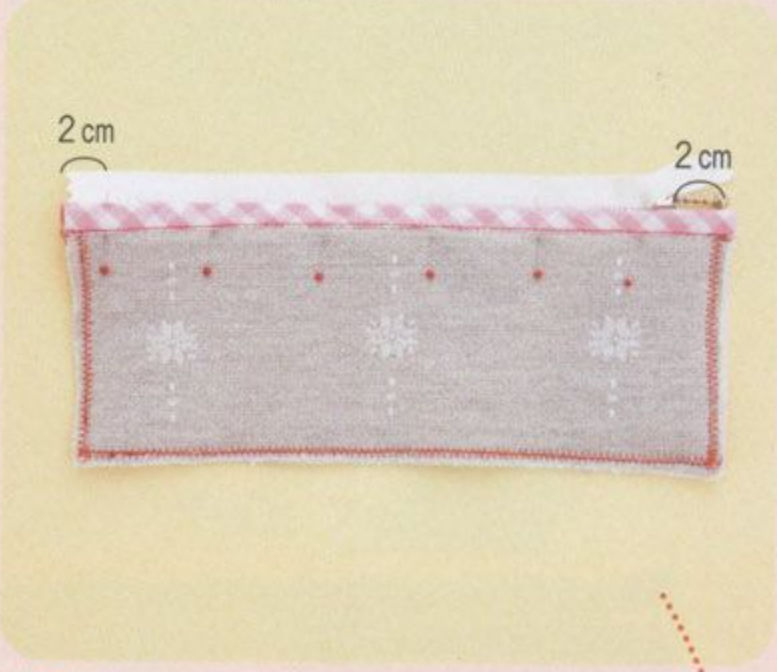
3 バイアステープを表布側に返し、テープで口をくるむように折り、まち針でとめる。

4 バイアステープのきわから0.2cm内側の所を縫う。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする。もう1つの本体にも同様にバイアステープをつける。

4 ファスナーをつけます



1 20cmのファスナーを用意する。

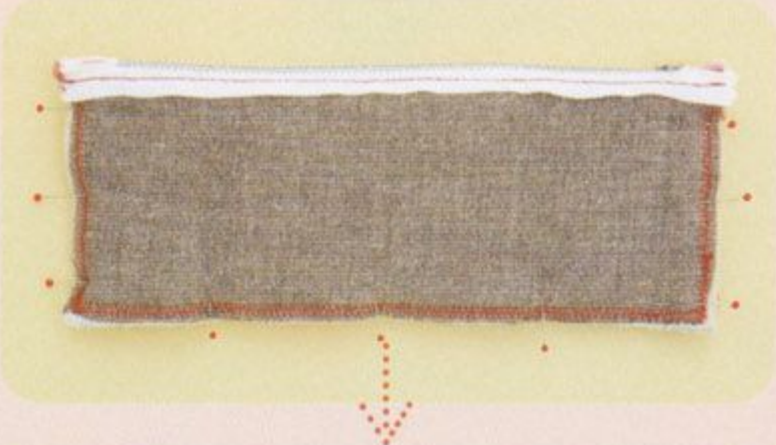


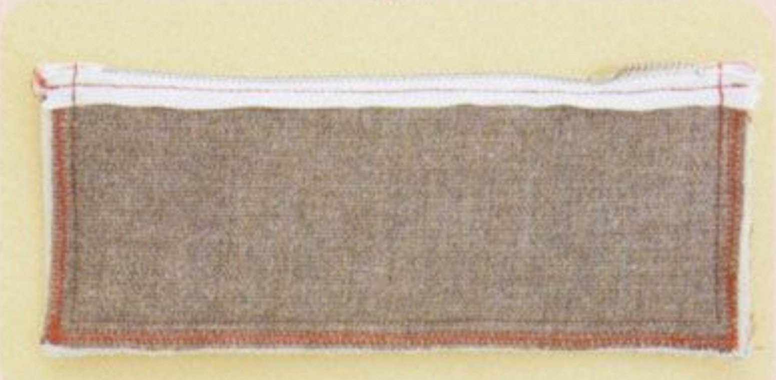
2 ファスナーの金具の端を本体の布端から2cmの位置に合わせ、まち針でとめる。まち針は、最初に左右の布端、そのあと中央に。そして、間を埋めるように打つ。

1本どりの縫い糸、またはしつけ糸でしつけをかけておくと、より縫いやすくなる。

本体にファスナーを固定するときは、バイアステープの上端が、ファスナーのエレメント(ムシ)部分にくるように置くときれいに仕上がるよ

仕上げます 5

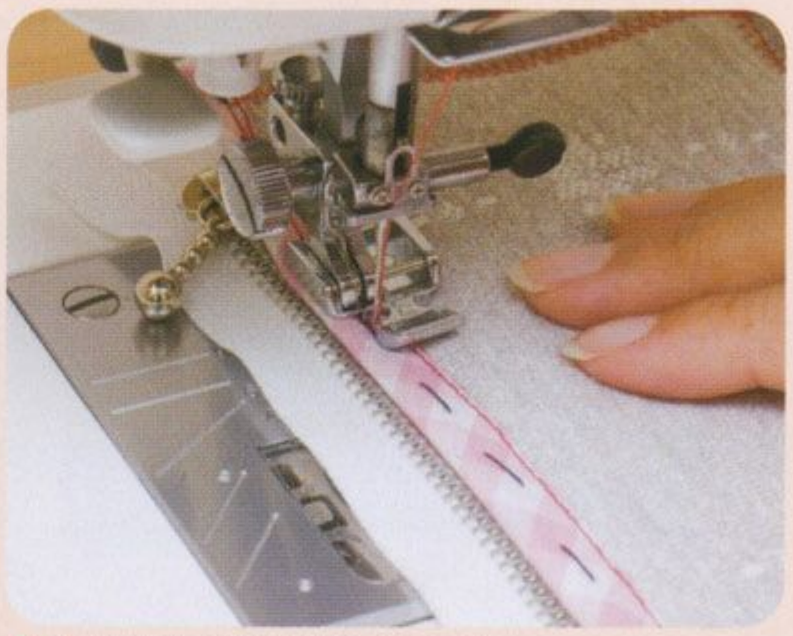




1 ２枚の本体を中表に合わせて、まち針を打つ。布端から１cm内側の所をコの字に縫う。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする。

2 ファスナーを開けて表に返し、角を目打ちなどで整える。

5 反対側も同様に縫う。



3 ミシンの押さえ金をファスナー専用のものにつけ替える。3-4の縫い目から0.3cmの所を縫う。縫い始めは、ファスナーの引き手を下げておき、縫い進めたら上げて、針が引き手にぶつからないようにする。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする。

ファスナー専用押さえ金

表

裏

4 ファスナーの片側を縫いつけた状態。

でき上がり！

ピンクのバイアステープの立ち上がりで、ファスナーが隠れます。

19page.com

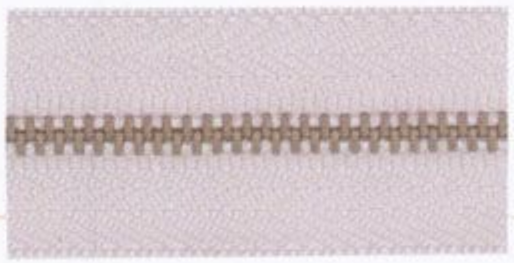
小物作りのファスナー選び

ポーチやペンケースなどに欠かせない、ファスナー。
基本のつけ方をマスターしたら、
布の色やデザイン、サイズに合わせて
ファスナーを選んでみましょう。
ファスナーをひと工夫するだけで、
作品の印象も変わってきますよ。

ファスナーの基本を覚えましょう

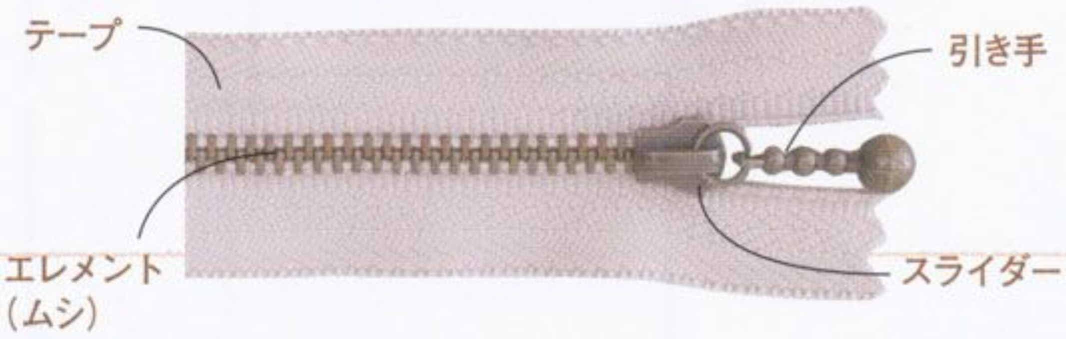
素材

エレメント部分が金属製の金属ファスナーと、ポリエステルなど樹脂製の素材をコイル状にした樹脂ファスナーの２種類が主。金属ファスナーは、買い求めやすくデザインも豊富にそろいます。薄手の布には、軽く耐久性に優れた樹脂製を。



名称

ファスナーは、テープ、エレメント(ムシ)、スライダー(開閉部分)と３つのパーツからできています。ファスナーのサイズとはエレメントの幅のことをいい、数字で表します。小物には「３」サイズのものが向いています。



ファスナーのタイプはさまざま

ポーチの定番！ ポールファスナー

引き手部分が小さな球状になった、見た目にもかわいらしいファスナー。金属部分が目立たずかさばらないので、ポーチなどの小物を作る際におすすめ。
各全長約24cm／Rick Rack

大きめのバッグにピッタリ！ リングファスナー

引き手部分がリングになっているので、しっかりと指を入れることができ、開け閉めがスムーズ。旅行用やママズバッグなど、大きめバッグに。
大・全長36cm、小・全長27cm／Rick Rack

エレガントな 両開きファスナー

テープ部分がレースになったおしゃれなファスナーは、作品のアクセントとしても活躍。通常のものと違い、テープ端の始末が不要のため、縫いつけるのもスピーディです。
各全長約35cm／クロバー

レースのファスナーが
作品のアクセントに。

ファスナー飾りでかわいくアレンジ

引き手に愛らしいチャームをつけファスナーの飾りに。付属の丸カンを使ってスライダーにつけるだけ。各全長約２～３cm／植村

Rick Rackのご案内

バッグ作りで使った布は 下記店舗もしくは HPで購入できます

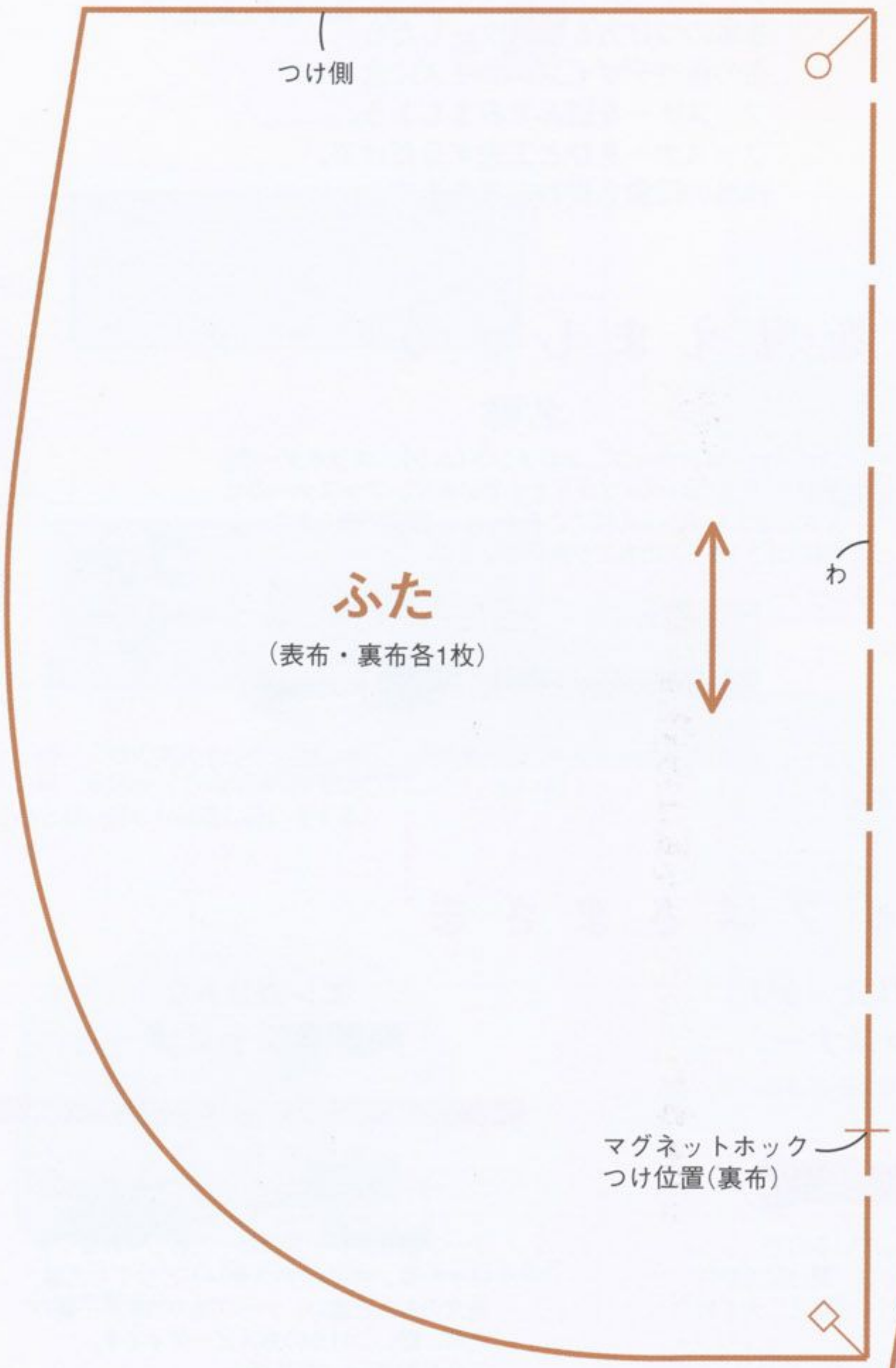
布と型紙のショップ"Rick Rack"(リックラック)は初心者でも必ずできるていねいな作り方解説とセンスのいい布の品ぞろえが人気。
住所／東京都狛江市岩戸北3-11-1　日東絲業工業団地２号館　１階　☎03-3480-0434
営業時間／9:30～18:00(平日) 10:00～18:00(土・日曜、祝日)　無休(臨時休業あり)
＊神戸・岡本にも直営店あり
http://www.rick-rack.com/

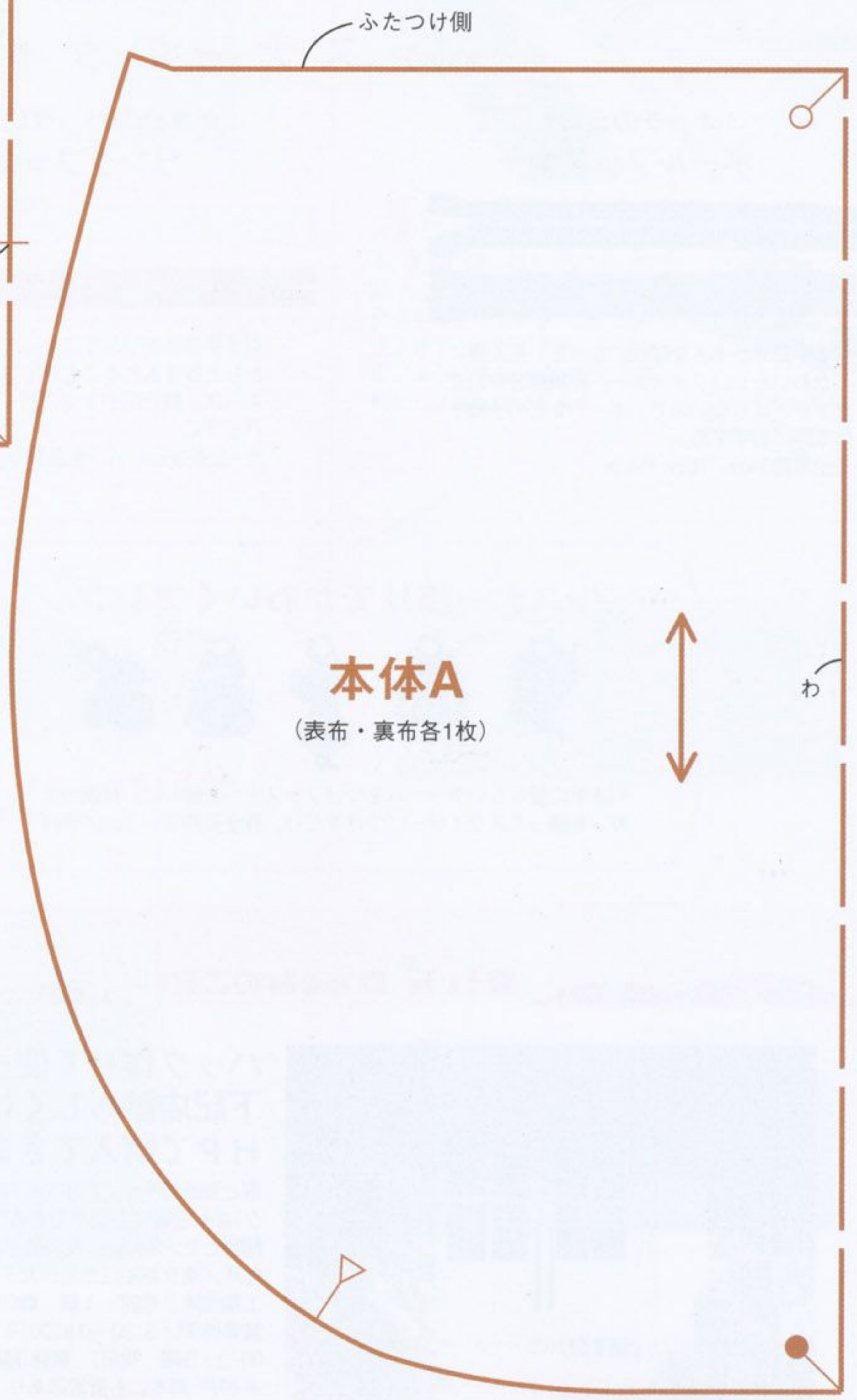
See you again!

19page.com

ショルダーバッグの型紙

※200%に拡大して使用してください
※縫い代は含まれています



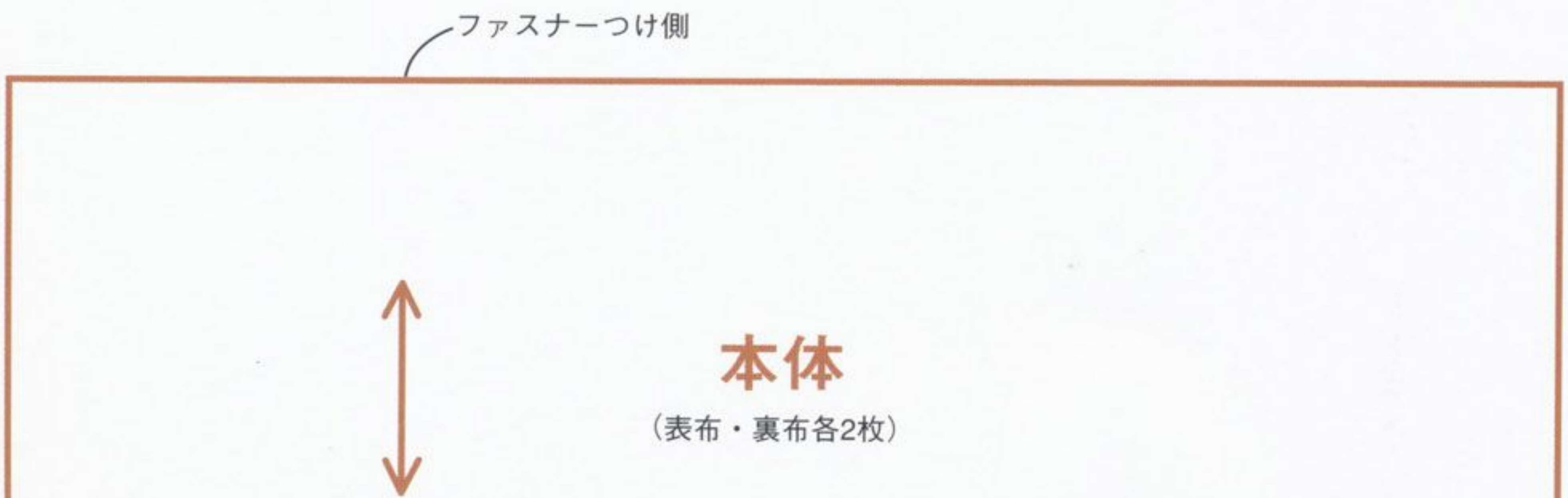


19page.com

19page.com

ペンケースの型紙

※200%に拡大して使用してください
※縫い代は含まれています



次回の**1**月号は…

“ミニボストンバッグと まち付きポーチ”

です

19page.com

作品製作・指導／Rick Rack　構成・取材／須藤敦子　撮影／落合里美　蔵田創一　岡 利恵子(本社写真部)　スタイリング／石川美和　製図／今 寿子　イラスト／白井麻衣
ウサギ製作／小林かおり　ブックデザイン／ohmae-d(前原香織　内藤華子)　取材協力／Rick Rack　植村　清原　クロバー
キャンドル、キャンドルプレート(ともに参考商品)／ドゥ・セー自由が丘　ツリー形フック¥315／MoMo natural 自由が丘店